

社会福祉法人 千葉育美会

令和2年度 事業報告



- 特別養護老人ホーム波岡の家
 - 短期入所生活介護
 - 通所介護
 - 居宅介護支援
 - 地域包括支援センター
- 特別養護老人ホーム花の里
 - 短期入所生活介護
 - 通所介護
 - 居宅介護支援センター
 - 在宅介護支援センター
- 特別養護老人ホーム浮間こひつじ園

令和2年度理事長活動報告とご挨拶

ここに令和2年度社会福祉法人千葉育美会事業報告書を上梓いたします。
令和2年度は災害ともいえる新型コロナウイルス感染症で1年が振り回されてしまいました。波岡の家ではクラスターが発生し多くの入居者がお亡くなりになり、残念でなりません。今後このようなことが繰り返されないためにも感染防御に努めます。ただ、決して手を抜いていたわけではなく、手の間をすり抜けて施設内に感染が伝わってしまいました。全国でも1000以上の高齢者施設でクラスターが発生しており、いち早く感染兆候をつかみ検査による把握が必要と思います。

理事長として、施設に訪問することもかなわず主に施設長と執行理事を交えてのウェブ会議が主となりました。平素の稟議はメールによる送信で行われ、捺印書類は郵送となりました。

また理事長活動報告として令和2年4月から令和3年3月まで、合計187報の報告をメール配信で行いました。

主なものは、コロナ感染症関連	92件
労務・業務改善関連	10件
経営報告	18件
理事会関連	4件
その他	

でした。

令和3年5月
社会福祉法人千葉育美会理事長
長沼信治

目次

1. 法人概要	…	1-3
2. 波岡の家	令和2年度 事業報告書(案)	… 4-44
3. 花の里	令和2年度 事業報告書(案)	… 45-73
4. 浮間こひつじ園	令和2年度 事業報告書(案)	… 74-95

1.法人概要

- (1)法人名称 社会福祉法人千葉育美会
(2)法人所在地 〒292-0815 千葉県木更津市大久保字上根761番2
(3)設立年月日 昭和62年7月29日
(4)理事長 長沼 信治
(5)役員 業務執行理事 馬場 眞子
理事 木田 健一, 秋山 正芳, 小林 義和, 佐々木 英幸
監事 数井 英一郎, 一面 俊明
評議員 増村 章仁, 大谷 昌久, 松木 豊, 近田 秀樹, 緑川 和浩,
時田 美奈, 諫山 哲史, 北村 二郎, 山崎 憲司,

(6)事業内容

特別養護老人ホーム 波岡の家

所在地 千葉県木更津市大久保字上根761番2

電話 0438-36-4193 FAX 0438-36-1594

敷地面積 4,262.74 m²

延床面積 2,156.94 m²

関連法人 医療法人社団小羊会・社会福祉法人小羊会

嘱託医 医療法人社団小羊会 高洲訪問クリニック

訪問歯科 大隅歯科医院

事業内容

①特別養護老人ホーム波岡の家

指定年月日 令和2年2月1日

定員 50名

②特別養護老人ホーム波岡の家指定短期入所生活介護事業所

指定年月日 令和2年2月1日

定員 9名

③ディサービスセンターカメリアの園

指定年月日 平成26年4月1日

定員 25名

④居宅介護相談センター波岡の家

指定年月日 平成26年4月1日 木更津市

⑤木更津市南部地域包括支援センター

指定年月日 令和元年7月1日 木更津市

事業内容

特別養護老人ホーム 花の里

所在地 千葉県南房総市和田町松田字水深808番地

電話 0470-47-5193 FAX 0470-47-5195

敷地面積 5,400.77 m²

延床面積 3,020.97 m²

関連法人 医療法人社団小羊会・社会福祉法人小羊会

嘱託医 医療法人社団優和会 松永醫院

協力病院 医療法人社団慶勝会 赤門整形外科内科

訪問歯科 亀田ファミリークリニック館山歯科センター

事業内容

①特別養護老人ホーム花の里

指定年月日 令和2年2月1日

定員 58名

②特別養護老人ホーム花の里指定短期入所生活介護事業所

指定年月日 令和2年2月1日

定員 12名

- ③デイサービスセンター花の里
指定年月日 令和2年3月1日
定員 25名
- ④居宅介護相談センター花の里
指定年月日 平成26年4月1日 南房総市
- ⑤在宅介護支援センター花の里
指定年月日 平成31年4月1日 南房総市

事業内容

特別養護老人ホーム 浮間こひつじ園

所在地 東京都北区浮間二丁目12番22号

電話 03-5970-0050 FAX 03-5970-0051

敷地面積 2,660.95㎡

延床面積 4,623.89㎡

関連法人 医療法人社団小羊会・社会福祉法人小羊会

嘱託医 医療法人社団信明会 コスモスクリニック

協力病院 医療法人社団慈誠会 浮間舟渡病院

訪問歯科 ホームケアデンタルクリニック城北

事業内容 ①特別養護老人ホーム浮間こひつじ園(ユニット型)
開設年月日 平成29年10月1日
定員 70名

②特別養護老人ホーム浮間こひつじ園(従来型)
開設年月日 平成29年10月1日
定員 30名

(7)役員会実績 理事会

- ・令和2年度第1回 令和2年5月30日(書面決議)
議案 令和元年度 事業報告及び決算報告(案)の件
評議員選任・解任委員会委員選任の件
浮間こひつじ園退職金規定の件
評議員会開催の件
- ・令和2年度第2回 令和2年8月28日(WEB開催)
議案 浮間こひつじ園施設長人事の件
理事推薦(案)の件
花の里から浮間こひつじ園へ資金移動の件
評議員会開催の件
- ・令和2年度第3回 令和2年9月29日(WEB開催)
議案 波岡の家建替え建設工事費の件
就業規則変更の件
嘱託・パートタイマー就業規則変更の件
- ・令和2年度第4回 令和2年12月18日(WEB開催)
議案 令和2年度第1次補正予算(案)の件
波岡の家、花の里警備業務委託契約継続の件
経理規定変更の件
波岡の家建替え移転における入札方法(公告文)及び入札参加資格要件
予定価格(最低制限価格)(案)の件
波岡の家建替え移転に係る千葉銀行借入の件

理事長及び業務執行理事、業務執行報告の件
評議員会開催の件

・令和2年度第5回 令和2年2月17日 (WEB 開催)
議案 波岡の家建替え移転、増築計画工事入札結果の件
理事推薦(案)の件
評議員会開催の件

・令和2年度第6回 令和3年3月19日
議案 令和2年度第2次補正予算(案)の件
令和3年度事業計画(案)の件
令和3年度当初予算(案)の件
千葉銀行実籾支店より、借入に関する内容変更の件
波岡の家建替え移転工事の件
理事長及び業務執行理事職務の状況報告
評議員会開催招集手続き及び決議の省略の件

評議員会

・令和2年度第1回 令和2年6月27日 (書面決議)
議案 令和元年度事業報告の件
令和元年度決算報告の件
波岡の家建替え移転、建設工事費について、理事会に一任する件

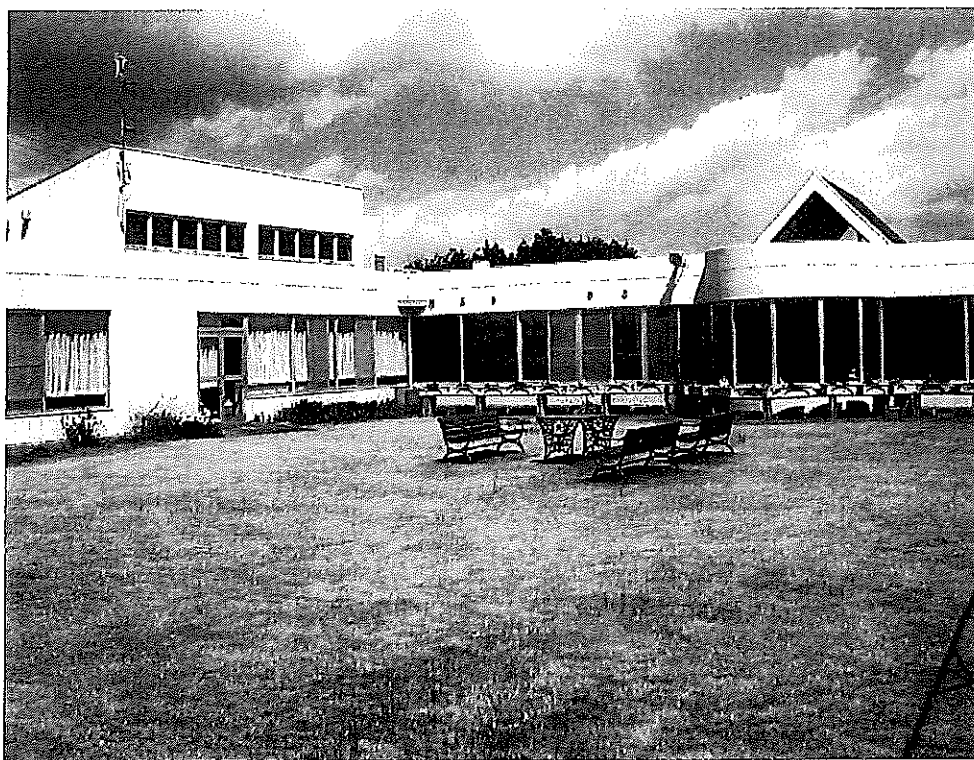
・令和2年度第2回 令和2年9月12日
議案 理事選任の件

・令和2年度第3回 令和2年12月26日
議案 令和2年度第1次補正予算の件
波岡の家建替え移転、入札方法(公告文)及び入札参加資格要件、予定価格(最低制限価格)の件
波岡の家建替え移転に係る千葉銀行借入の件

・令和2年度第3回 令和2年2月27日
議案 理事選任の件

・令和2年度第4回 令和3年3月30日
議案 令和2年度第2次補正予算(案)の件
令和3年度事業計画(案)の件
令和3年度当初予算(案)の件

社会福祉法人千葉育美会
波岡の家
令和2年度 事業報告書



特別養護老人ホーム 波岡の家
波岡の家 短期入所生活介護事業所
デイサービスセンター カメリアの園
居宅介護相談センター 波岡の家
木更津市南部地域包括支援センター

目 次

令和2年度事業概要.....	6
1. 理念と基本方針.....	7
2. 組織図.....	8
3. 特別養護老人ホーム.....	9
4. 短期入所生活介護事業所（ショートステイ）.....	11
【特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所 状況】.....	12
1. 入居者の状況.....	12
2. 行事、外出等の状況.....	15
3. 健康管理.....	17
4. 家族交流の状況.....	18
5. 地域福祉活動の実施.....	19
6. 職員研修.....	21
7. 実習生の受け入れ.....	22
8. 職員配置状況.....	23
9. 資格取得状況.....	23
5. デイサービスセンター カメリアの園.....	24
利用者動向.....	26
6. 看護グループ.....	28
年間実績.....	30
7. 栄養グループ.....	31
年間実績.....	32
8. 総務グループ.....	33
年間実績.....	34
9. 居宅介護相談センター波岡の家.....	35
請求実績.....	36
新規受け入れ数及び相談先.....	36
利用修了者数及び終了理由.....	36
年齢別利用者数・地域別利用者数・世帯状況.....	36
外部研修参加実績.....	37
10. 南部地域包括支援センター.....	38
1 相談.....	41
2 権利擁護業務.....	41
3 会議、研修会の開催、又は参加、及びPR活動等について.....	42
4 権利擁護業務介護予防支援業務（予防給付関係）.....	42
5 訪問状況.....	42
別紙1 令和2年度 認知症サポーター養成研修 実績.....	43
別紙2 令和2年度 研修参加実績.....	43
別紙3 令和2年度 地域活動.....	44

令和2年度事業概要

令和2年度につきましては、波岡の家建替え移転建築工事を実施すべく、前年度から引き続き、計画地近隣住民の方との協議を重ねるとともに、千葉県への申請手続き及び入札に向けて取り組みをすすめました。法人としても、近隣住民の意見及び要望に出来るだけ、沿えるよう協議、検討を行ない、計画をすすめ、入札を行ない、今後は落札者である建設業者と協力し、建設工事をすすめてまいります。

また、大きくは新型コロナウイルス感染症が前年度から終息の兆しが見えず、緊急事態宣言発令、解除近隣の感染状況を注視しながら、各事業所の受入、オンライン面会の導入、各種イベントの中止、内容変更等の臨機応変な対応が求められました。基本的には社会福祉法人の運営する事業所であり、感染対策を講じたうえで、緊急受け入れも可能な限り対応しました。長引く感染対策の中、職員の行動自粛要請についても、強制は出来ず、感染リスクの中での業務は大きな負担であったと考えます。

可能な限り、感染対策を講じてまいりましたが、残念ながら1月にはコロナウイルスクラスターが発生してしまいました。発生後は速やかに関係機関に報告し、相談いたしました。周囲の感染状況、医療体制から、陽性者の方の入院が叶わず、施設にて対応をいたしました。結果としてお亡くなりになる方もおり、最後まで、ご家族にお会いできなかった事には、ただただ申し訳なく思います。

そのような状況下、特別養護老人ホーム現場職員だけでなく、施設全職員の協力をはじめ、行政関係機関、近隣施設及び事業所、地域の方や退職した職員、同グループと同法人の協力と応援により、何とか乗り切ることができました。一言で言えば「災害」の状況であったと考えます。事前想定して対応できたことも、想定外の対応も多々ありました。この経験を決して忘れることなく、今後の感染予防対策及びBCPに活かしてまいります。

特別養護老人ホームでは、稼働率は93%で推移をしました。前年度比較約1%の落ち込みがありますが、1月前までは、前年度より約1%高い、稼働率を維持していました。クラスター後の稼働率の回復をすべく、次年度はすすめ、運営の安定を図ります。また、コロナの影響は、人材確保も厳しい中、現職員の維持も難しくなっております。外国人雇用についても受け入れ教育体制を整え、拡大する必要性を感じます。サービスの質の向上は難しく、現状維持を何とか保ちつつ、体制を立て直したいと考えます。

デイサービスでは、夏ごろから稼働状況の改善が見られ、新規利用も順調であったところ、クラスターの影響で、約1ヵ月の休止をしました。定員を増員した中での影響は大きく、稼働率は60%となり、前年平均利用者は約2名の減少となりました。再開の知らせを受け、また当園をご利用いただいている方には感謝しております。少人数での再開となりましたが、これまで出来なかった企画を職員が考え実施し、皆様に喜んでサービスをご利用いただいております。このような積み上げを大事にして、次年度に稼働の回復に努めます。

居宅事業所及び地域包括では訪問時における感染対策をこまめに行ない、感染とならないよう、配慮しました。両事業所とも、コロナ感染影響における、家での閉じこもりや、サービスを控える事により、認知症及びADLの低下を招かないように、注力しました。また、地域包括では、公民館が使用できないなど、本来の地域づくりや交流が滞る中で、何が出来るかを悩み続けた1年となりました。両事業所とも、クラスター発生により、訪問等の業務を控え、特養の協力応援に入った為、約2か月間は本来業務が滞ることとなりました。

この1年は、新型コロナウイルスに振り回された年であったと思います。世の中の感染状況や高齢者施設でのクラスター発生は、増加を辿っております。規模にもよりますが、我々は大規模であったため、影響は大きく、次年度にも響きますが、職員一同協力し、改善に努めます。さらに、本格化する施設建設にも良い施設が出来るよう準備をしております。

施設長 佐々木英幸

1. 理念と基本方針

【 法人理念 】

『ご利用者の尊厳を守り、その人らしく

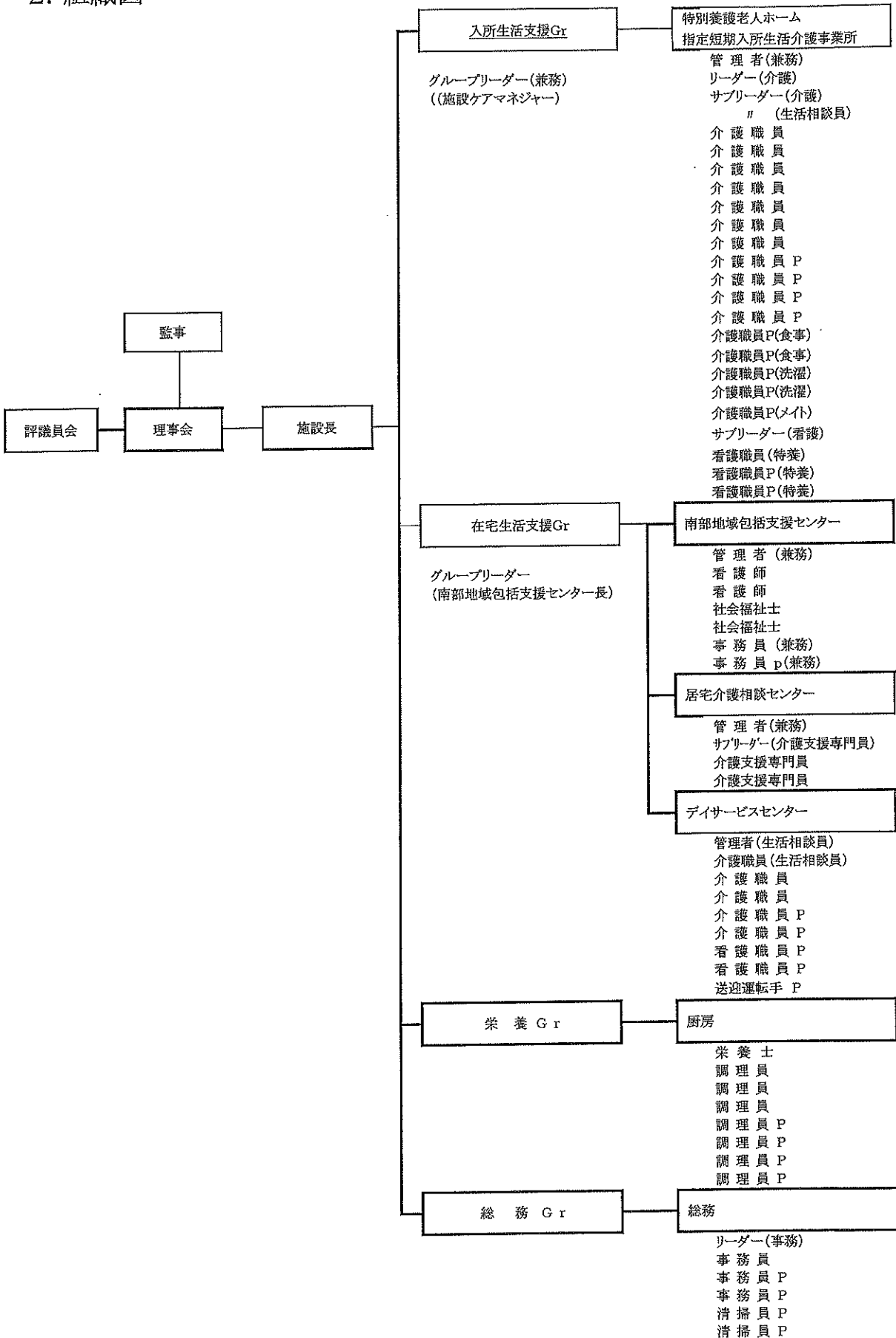
笑顔で生活できることを支援します』

【 波岡の家 基本方針 】

- 1、 利用者の意思による自己決定の尊重をします。
- 2、 地域に開かれた施設を目指します。
- 3、 利用者、家族に信頼される職員となることを目指します。

2. 組織図

令和2年3月31日現在



3. 特別養護老人ホーム

【目 標】

1to1サービス、個別ケアに取り組みます
前年度実績 94%を踏まえ、稼働率 96%・平均入所者数 48 人を目標とする

【重点課題】

- I アセスメントとケアの繋がり理解
- II グループの細分化
- III 事故防止対策の徹底
- IV 職員の能力向上

【実践結果】

特別養護老人ホームについては、前年度実績 94.3%の稼働状況を踏まえ、本年度は 96%の稼働率を目標に掲げておりました。前年度からの課題である退所者から速やかに入所に繋げるべく、長期入所者待機者の検討会議を定期的開催し、候補者の面接等を意識し、12月までは前年度平均を上回る稼働状況でしたが、1月の新型コロナウイルス発生、クラスターにより稼働率は2月、3月と大幅に減少しました。それまでの稼働状況から、年間を通じての大きな減少とはなりませんでしたが、空床を早期に解消すべく、取り組みます。

また、体制的には、リーダー職員の昇格、サブリーダーを増員し、組織体制を変更しました。建替え移転を踏まえ、2グループでの組織体制をしていましたが、入所者一人一人のアセスメントを重視したグループ細分化を実践しましたが、上手く機能できませんでした。引き続き次年度は現場組織の体制見直しと構築を踏まえ、移転後の展開を検討します。

日々のケアについては、質を低下させないよう、また入居者が少しでもより良い環境で過ごせるよう職員全体に呼びかけるよう努めました。しかし、職員不足も解消されないなか、退職者や新型コロナウイルスの影響で、休職者が出たりと更に厳しい状況になりました。各委員会やグループでの取り組みも、思うように進まず1月からは停滞してしまいました。また、体制の変更による介護リーダーも8月に着任し、経験が浅い事もあり、職員のまとめ役として上手く機能することができませんでした。今後は入居者に合わせたケア、より良いケアを提供していけるよう、職員1人ひとりの意欲、能力を伸ばしつつ、意識改善を行い、チームケアが実践できるようグループ、委員会等の組織再編をしていきます。

I. アセスメントとケアの繋がりを理解します

昨年に続き、職員不足を理由に業務中心のケアが目立ってしまいました。入居者個別のケアを検討グループ会議も、リーダーが先頭に立ち動き出せなかったことから、上半期は会議が開催できていませんでした。下半期から実働的に会議を開催し、入居者の現状把握、理解は進み始めているものの、アセスメントの重要性の理解までは至っていません。今後は、業務中心のケアにならないよう、業務改善も並行しながら、個々の状態に合わせた適切なケア、尊厳のあるケア、また入居者にとって楽しみのある生活を目指していきます。その為には、職員個々の意識、入居者への関心や気づき、介護職としての専門性を高める事が求められます。職員一人一人の意識改善が大きな課題であると思います。

II. グループの細分化

グループの細分化により、入居者一人一人に深く検討することができた反面、情報量が多くなることで、全体としての情報共有が難しくなった事が課題となりました。また、グループの細分化により、少人数の職員で会議を開催している為、少人数だけの意見でケアの方針、方法が安易に決定出来る為、即時対応できるスピードはあるものの、本当にその決定が的確であるのかの決定権とリーダーのチェック機能が働いていないことも課題となりました。

次年度は3グループ制から2グループ制に戻すこととして、上記記載の課題を解決しながら、職員

全体が情報共有できるよう、リーダー及び担当職員が率先して他職員への情報発信、周知していきたいと考えています。

III. 事故の減少に取り組み、介護事故による骨折をゼロにします

今年度の骨折をともなう重大事故は3件でした。全体の事故件数は増加傾向。重大事故としては昨年と同数で減少させることができませんでした。入居者の退所、入所により、多動による見守りが必要な方であったり、認知症やADL低下による、座りそこねでの転倒事故が増えています。また、ヒューマンエラーである介助中の転落、センサーマット付け忘れによる転落、転倒事故、誤薬事故が増加した傾向が見られています。忙しさからの確認作業や危険予測する力の低下が原因と思われます。自身の行動を過信せず、常に行動を見直し改めることが必要であり、職員一人一人が入所者の命を預かっているという意識を高く持ち、職務にあたることが求められます。難しい課題ではありますが、勉強会や日々のコミュニケーションを通じ、職員個々の気づきに繋がるよう取り組んでいきます。

IV. 職員の能力向上

外部研修については、職員不足、コロナウイルスの影響もあり、全く参加できていない状況です。内部研修についてはKYT、嘔吐物処理の勉強会を実施しました。研修委員会を中心に感染対応マニュアル等を作成しましたが、職員不足もあり、なかなか勉強会を実施できませんでした。今後は職員の能力、質の向上のためにも接遇マナーや認知症ケア、身体拘束虐待などの勉強会を企画していけたらと考えています。職員の負担も考え、業務時間内にできるような短時間で出来る勉強会を検討するとともに、外部はオンライン研修会も主流になりつつあるので、あわせて検討し参加を促してまいります。

4. 短期入所生活介護事業所（ショートステイ）

【目 標】

ケアプラン・アセスメントを適切に活用しながら、利用中の生活を充実させるサービス提供を行います。前年度実績77%を踏まえ、稼働率83%・平均利用者7.47人にします。

【重点課題】

- I 利用者の変化に合わせたニーズを把握し、正確な情報を共有することで、質の高いサービス提供に繋がります。
- II 個々の過ごし方について見直しを行い、ショートステイ中の生活を充実させます。

【実践結果】

短期入所においては、前年度に平均 77%まで低迷した稼働状況を改善すべく、積極的に新規利用者の受け入れを行いました。一時は月稼働率が90%台まで上がり、12月時点では平均稼働率が80%近くとなっていました。しかし、1月に発生した新型コロナウイルスクラスターによる、受け入れ停止とその後の利用控えにより、71%まで落ち込み、目標達成には至りませんでした。現状、感染予防対策を徹底しながら、新規利用者の受け入れに際しては、事前検査を行う等、慎重な対応をしています。ただ、クラスター発生後における職員の休職や退職、再感染の不安・新規利用者への警戒、利用控え等、未だ影響は強く残っている状況です。

令和2年度は、年度を通して全国的な感染症の流行が続いた上にクラスターもあり、利用者・家族・職員の心身ともに厳しい1年でした。利用者にもマスクの着用等、感染予防対策の負担がある中でも、ショートステイの利用継続を希望される方、利用を必要とする方も多くいるのが現状です。職員不足や制限を受ける不安な状況下であっても、利用者ができる限りより、よいケアを受け、適切な環境で過ごせるように、工夫したサービス提供を行ってまいります。

1. 利用者の変化に合わせたニーズを把握し、正確な情報を共有することで、質の高いサービス提供に繋がります。

介護・看護職員への利用者のADL変化の情報共有などは、申し送りノートなどを活用し、できる限りわかりやすく情報提供することを心がけています。ただ、個々の利用者の基本情報の内容は多岐にわたったり、加えて、長期入所者に比べて短い利用の短期入所者の情報は、中々現場全体に浸透し難く、中には、直接の関わりが少ない職員も出ることもあり、全ての職員が情報全てを把握するのは困難と言えます。それぞれの方の対応について、重点ポイントを絞って情報提供・共有してケアにあたることで、一人ひとりの利用者にとって、快適な環境が提供できると考えます。

また、今までは情報が周知されているかの確認が不足していたため、今後は情報確認状況のチェックも行い、ケアの統一に繋がっていきます。

2. 個々の過ごし方について見直しを行い、ショートステイ中の生活を充実させます。

ショート利用者個別のアセスメント・ケアプランを利用した過ごし方について、見直しまではできませんでしたが、ただ、塗り絵や風船バレー・毎朝のラジオ体操時のリハレク等、出来る限り時間を使って、ある程度の事前準備だけで簡単に実施できることは、以前よりも行われており、このようなすきまの時間を充実させていくことは、ショートステイ及び長期入所の利用者の過ごし方として、今後活用していけるように感じています。

【特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所 状況】

1、入居者の状況

- (1) 年齢・性別状況
- (2) 要介護度の状態区分
- (3) 在籍期間
- (4) 月別延人数・入所稼働率
- (5) 入所稼働率の比較
- (6) 入退所者の状況

1、入居者の状況

令和2年度末現在での、入居者の年齢・性別状況は「表-1」の通りです。

男性の平均年齢は69.4歳、女性の平均年齢は89.9歳、全体の平均年齢は85.4歳となっています。85歳～99歳の方が、全体の78%を占めている状況となっており、最高齢の入所者は99歳で2名いらっしゃいます。

(1)年齢・性別の状況 「表-1」

	男性	女性	合計	構成比
60歳未満			0	0%
60歳～64歳		1	1	2%
65歳～69歳	3	1	4	10%
70歳～74歳	1	2	3	7%
75歳～79歳	1		1	2%
80歳～84歳			0	0%
85歳～89歳		12	12	29%
90歳～94歳	3	13	16	39%
95歳～99歳	1	3	4	10%
100歳以上			0	0%
合計	9	32	41	100%
平均年齢	69.4歳	89.9歳	85.4歳 (全員平均)	

(2)要介護度の状況

令和2年度末現在の入所者の要介護度の状態区分は、「表-2」の通りです。要介護度4及び5の方は全体で56%、昨年度と比較し12%の減少となっております。平均要介護度は3.7となり、昨年度より3%減少しています。

要介護度の状態区分 「表-2」

介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護1			0	0%
要介護2	1	2	3	4%
要介護3	4	11	15	29%
要介護4	3	10	13	31%
要介護5	1	9	10	37%
合計	9	32	41	100%
平均要介護度	3.4	3.8	3.7 (全員平均)	

(3)在籍期間

令和 2 年度末現在の入居者の在籍期間は「表-3」となります。入居されて 2 年以上～3 年未満の方が昨年度の 6%から 34%へ増加、5 年以上入居されている方は、昨年度から 28%から 17%に減少。全体としての平均在籍期間は、約 3 年 7 ヶ月となっております。最も入所が長い方は 26 年 7 ヶ月の在籍となっております。

在籍期間 「表-3」

在籍期間	男性	女性	合計	構成比
1 年未満	1	8	9	22%
1 年以上～2 年未満	3	5	8	20%
2 年以上～3 年未満	3	11	14	34%
3 年以上～4 年未満		2	2	5%
4 年以上～5 年未満		1	1	2%
5 年以上～10 年未満		3	3	7%
10 年以上	2	2	4	10%
合計	9	32	41	100%
一人当たりの平均在籍期間	5.5 年	3.0 年	3.6 年(全員平均)	

(4)入所稼働率

令和 2 年度の月別実人数、月別延日数及び入所稼働率は、「表-4」となります。昨年度よりも高めの稼働率で推移していましたが、1月に新型コロナウイルスのクラスターが発生してしまい、最終的には長期入所 8 名の方が新型コロナウイルス肺炎にて、亡くなる結果となってしまいました。

月別延日数・入居稼働率 「表-4」

	入所者実数(月末)	入所者延日数	稼働率
4月	48	1460	97.3%
5月	47	1470	94.8%
6月	47	1410	94.0%
7月	49	1490	96.1%
8月	47	1488	96.0%
9月	47	1408	93.8%
10月	48	1481	95.5%
11月	47	1414	94.3%
12月	48	1487	95.9%
1月	45	1492	96.2%
2月	40	1134	81%
3月	41	1271	82%
平均	46.1 人	1417 日	93.07%

(5)入所稼働率の比較

令和元年度との実績比較は「表-5」のとおりとなります。令和 2 年度は、前半～中盤の稼働率が安定していましたが、後半は新型コロナウイルス肺炎による退所者数が多く、前年度比較はマイナスとなりました。

入所稼働率実績の比較

「表-5」

	令和元年度	令和2年度	比較
定員数	50人	50人	変更なし
延べ人員	17,256	17,005	-251
利用率	94%	93.07%	-0.93%

(6)入退所の内訳

令和2年度の入退所の内訳は、「表-6」の通りです。全体では、13名の看取り介護を行っています。また上記にも記載したとおり、1.2月に退所された10名の内、新型コロナウイルス肺炎で亡くなられた方は、8名です。その内5名は、入院調整困難にて、施設内でできる限りの治療を行いながらの看取りとなりました。

「表-6」

入退所の内訳	入所実人員	入所内訳		退所実人員	退所内訳		
		老健・施設	在宅		長期入院	死亡	その他
4月	1		1				
5月							
6月							
7月	1		1	1	1		
8月	1		1	2		2	
9月	1		1	3		3	
10月	3		3	2		2	
11月	1		1	2		2	
12月	2	1	1				
1月	1	1		6		6	
2月				4		4	
3月	1		1				
合計	12	2	10	20	1	19	

2、行事、外出等の状況

- (1) 行事
- (2) レクリエーション活動の状況
- (3) 外出
- (4) 預かり金開示

(1) 行事

今年度の行事実績は「表-7」の通りです。行事については、毎月の担当者が企画し、実施をしています。入居者様と一緒に楽しめるよう様々な工夫をしています。今年度は、コロナウイルスの影響で外出等が出来ず、2月3月行事は、施設内でコロナウイルスによるクラスターが発生した為、レクリエーションを実施する状態ではありませんでした。

令和2年度行事実施

「表-7」

	行事名	日程		行事名	日程
4月	お誕生者食事会	23日	10月	お誕生日会	8日
	5月お誕生日者ドライブ 車内でお祝い	30日		プチ運動会 波岡作品展(3日間)	15日 23日 26日 27日
5月			11月	お誕生日会	12日
6月	お誕生日会	11日	12月	お誕生日者食事会	10日
	高得点を狙え	12日		クリスマス会	24日
7月	お誕生者食事会	9日	1月	波岡手作り神社初詣	1~5日
	プチ縁日	23日		お誕生日会	9日
8月	お誕生日者食事会 水遊び	6日 27日	2月		
9月	お誕生日会 敬老会	10日 20日	3月	お誕生日会	18日

(2) レクリエーション活動の状況

今年度実施したレクリエーションは「表-8」の通りです。毎月の担当者が企画しています。得意不得意もありますが、利用者様同士の交流も含め、職員も一緒に楽しめるよう工夫された内容にしています。

○定期的なレクリエーション

「表-8」

レク名	頻度	参加者	内容
カラオケ	毎月1回	15名	マイクを離さず歌われる方、聞くのが好きな方など、元気いっぱい盛り上がります。
絵画	毎月2回	7名	大カレンダー作成・季節の塗り絵など、細かい作業が好きな方もいるので指先や手のリハビリ等も兼ねて毎月設定しています。

○不定期で行なったレクリエーション

頭を使うレクリエーション：

サイコロ連想ゲーム、積み木崩し 輪投げ等

体を使うレクリエーション：

風船バレー、ボーリング、玉入れ、サッカー等

その他：

カラオケ、おしゃれ教室、水遊び、毎月のカレンダー作り、文化祭/正月絵馬等の作品作り

(3)外出

今年度の外出実施状況は「表-9」の通りです。職員不足やコロナウイルスの影響で外出できていません。その為、利用者から希望があったり、お誕生日の時などは外注で、好きな物を食べて頂いたり少しでも喜んで頂けるよう工夫しています。地域の夏祭り等も中止になったりしている為、施設内でも季節感や楽しみを感じて頂けるよう、レクの一環としてプチ縁日や運動会、景品のあるレクなどを取り入れています。

「表-9」

月日	外出先	目的	利用者数
4月30日	中の島大橋周辺	誕生日者外出	2名
			2名

(4)預かり金の開示

入所者及びご家族様からの委任により管理を行っている、入所者預かり金の出納状況については、ご希望のご入所者以外に、ご家族様(身元引受人)に開示・説明を行いました。ご家族様には、出納状況を示した預かり金明細を毎月送付させていただき、面会等来所の際に台帳を開示・説明をおこない、承認印を受領しています。

また、令和2年度をもって、預り金は全てご家族に返却することとなりました。

預かり金定期開示の状況

「表-10」

預かり金管理期間	定期開示
令和2年1月～3月分	令和2年4月
令和2年4月～令和2年6月分	令和2年7月
令和2年7月～8月分	令和2年9月
令和2年9月～12月分	令和3年1月

3、健康管理

- (1) 往診等の状況
- (2) 医療機関への通院状況
- (3) 病院別・入院状況
- (4) 事故状況

入所者様への健康管理の状況は、次の(1)から(3)の通りです。基本的には、嘱託医や歯科医の往診による診療を行い、その他に随時必要な際には、君津中央病院や萩原病院、橘川クリニック等の医療機関に受診をいたしました。夜間帯は看護職員によるオンコール体制となっております。夜勤者より、入所者様の状態変化があった際に連絡をして、状況に応じて夜勤者へ処置等を指示及び出勤・緊急対応致しました。

(1) 往診等の状況

令和2年度の往診等の状況は、協力病院である高洲訪問クリニックの医師が、月2回来所され、回診を行っております。歯科治療につきましては、大隈歯科医院より月2回、歯科医師が往診に来て下さっています。口腔ケアや虫歯の治療、義歯の作成、調整等を行っていただきました。今年度はコロナの影響により、往診回数に変更が生じています。

(2) 医療機関への通院状況(年度)

令和2年度の医療機関の通院状況は、表-10の通りです。嘱託医師である橋詰先生の専門が内科であるため、専門外である心療内科・整形外科・眼科・皮膚科等を中心に、外部受診を行っております。総合診療ができる君津中央病院の割合が全体の10%、内房整形外科の割合が全体の9%を占めております。特に近年では、心療内科領域での通院が増加傾向にあります。

「表-10」

	橘川クリニック	君津中央病院	内房整形外科	萩原病院	木更津保健所	玄々堂君津病院	重城病院	東邦病院	さつき台病院	松葉皮膚科	その他		合計
合計	163	22	20	9	3	3	2	2	1	1	1		227
割合	72%	10%	9%	4%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	0%		100%

(3) 病院別・入院状況

令和2年度は、肺炎や内科系の治療目的で君津中央病院や玄々堂君津病院、又は森田医院と東邦病院含めて7名入院されました。骨折による手術目的で入院された方は内房整形外科へ1名入院されています。今後も、症状の重症化や、入院を防ぐことができるよう努めてまいります。休日及び夜間に関しては、当番医に救急搬送要請対応させていただきました。

「表-11」

入院状況	人数	延日数	割合
君津中央病院	3	73	38%
玄々堂君津病院	1	129	13%
森田医院	1	91	13%
その他	3	116	39%
合計	11	409	100%

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	31年	14	14	16	6	8	3	7	6	3	4	13	8	102
	R2年	7	6	5	10	7	14	9	11	13	15	8	8	113

① 重大事故件数(事故後病院受診したもの)

3件	右大腿骨大転子部ひび	右大腿骨大転子部骨折 [入院/手術]
	右額十字に裂傷5針縫合	

② 事故報告結果から

外傷や皮下出血の発見、骨折も含め、総数としては、昨年度より11件増加しています。骨折を伴う重大事故は昨年3件、今年度も3件と同数ありました。

自力歩行される方の入所が増え、徘徊の見守りや、椅子への座り損ね等の事故が増加傾向です。職員の認識の差から、危険予測不足、事故に対する事故対策が徹底されていない事例もあり、本来防げる事故も、防げていない例もあります。事故対策をどのように周知させ、徹底していくのか今後の課題であります。また、センサーマット等に頼りきり、危険予測能力を下げている事も考えられる為、センサーマット等を適切に活用できているか、定期的な振り返りが必要です。KYTや事故防止強化月間なども設けることで、職員の意識改善を図り、入所者様が安全に生活できるよう、事故防止対策を講じてまいります。

4、家族交流の促進

(1) 面会者の状況

(2) 外出・外泊の状況

(1) 面会者の状況

新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため令和2年3月～5月は面会を中止しました。令和2年6月～10月は、予約制で日時を限定して、アクリル板の衝立等を用いての面会を受け入れています。11月からは、再度直接面会を中止、予約制・日時限定はそのままに、ZOOMアプリを使用したオンライン面会を開始しました。

令和3年4月からは、オンライン面会に加えて、窓越しの面会を開始しています。

新型コロナウイルスの流行による面会制限のため、昨年度と比較すると、総面会者数は-1,035人と激減しており、クラスターの時期も含め、ご家族様には、不安で心配の多い年度となってしまったと思います。

「表-13」の内訳としては、令和2年6月～10月の面会で183名、オンライン面会は43名の方が利用されています。

「表-13」

総面会者数	1日の平均面会者数
226人	0.61人

(2) 外泊の状況

「表-14」の通りです。

元々、外泊を自由にできるご入所者様は昔に比べ、減っていましたが、令和2年度は、新型コロナウイルスの流行による外出の自粛もあり、外泊された方はいません。

「表-14」

外泊	実人員	延件数	延日数
	0人	0件	0日

(2)外出の状況

元々、外出を自由にできるご入所者様は昔に比べ減っていましたが、令和2年度は、新型コロナウイルスの流行による外出自粛の推奨もあり、ご家族様対応での受診もできる限り、控えていただいています。「表-15」の内容は、すべて受診外出となっています。

外出 「表-15」

	延べ 人数	外出先		
		自宅	市内	市外
4月				
5月	2		2	
6月	1		1	
7月	1		1	
8月	3		3	
9月	1		1	
10月	3		3	
11月	1		1	
12月	2		2	
1月	1		1	
2月				
3月				
合計	15		15	

5、地域福祉活動の実施

(1)ショートステイの利用状況

- ①ショートステイの稼働率
- ②ショートステイ介護度別人数
- ③ショートステイ利用実績の比較

(2)ボランティア活動の状況

(3)訪問の状況

(4)地域行事参加・交流

(1)ショートステイの利用状況

① ショートステイの稼働率

「表-16」の通りです。令和2年度は、新規利用 21 名、緊急利用 6 名、他界による利用終了 4 名、施設入所等による利用終了 10 名です。ショートステイから長期入所へ移行された方は 7 名。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や外出自粛もあり、長期に渡り利用を控えていらっしゃる方も 4 名ほどいらっしゃいます。

1月に発生してしまった新型コロナウイルスのクラスターでは、ショートステイでも 6 名の方が罹患し、2 名の方が亡くられる事態となってしまいました。

「表-16」

	利用延べ人員	利用率(9床として計算)
4月	150	55.6%
5月	185	66.3%
6月	223	82.6%
7月	266	95.3%
8月	249	89.2%
9月	237	87.7%
10月	215	77.1%
11月	199	73.7%
12月	217	77.7%
1月	175	62.7%
2月	111	44%
3月	111	39.7%
合計	2,338	70.96%

② ショートステイ介護度別人数

毎月ごとの実人数で計算をした、令和2年度のショートステイ介護度別人数は、「表-17」の通りです。要介護3~5の方が70%近くを占めており、昨年度との比較としては若干増えています。

月末の介護度で計算 「表-17」

介護度	人数	構成比
要支援1	0	0%
要支援2	2	1%
要介護1	32	16%
要介護2	32	16%
要介護3	42	21%
要介護4	55	27.5%
要介護5	37	18.5%
合計	200	100%

③ 利用実績の比較

前年度との実績比較は「表-18」の通りとなります。

ショートステイ利用実績の比較

「表-18」

	令和元年度	令和2年度	比較
定員数	9人	9人	0
延べ人員	2,551	2,338	-213
1月当たりの利用者数	212.5	194.8	-17.7
利用率	77.6%	70.96%	-6.64%

(2) ボランティア活動状況

新型コロナウイルスの流行により、令和2年2月以降年度を通して、受け入れ自体を控えている状況です。

「表-19」

	活動者	内容	実人員	延べ回数
4月~3月	なし			
合計			0	0

(3) 訪問の状況

新型コロナウイルスの流行により、年度通して受け入れ自体を控えている状況です。

訪問 「表-20」

	団体名	人数	内容
4月～3月	なし		

(4) 地域行事参加・交流

新型コロナウイルスの影響により外出は難しく、また、地域行事も中止となったり地域交流ができていない状態です。

地域社会への参加 「表-21」

日程	内容	利用者参加数	場所
中止	大久保夏祭り	0名	大久保公園
中止	大久保夏祭り	0名	大久保公園
中止	波岡東地区敬老の集い	0名	波岡中学校

6、職員研修

- (1) 外部研修(OJT)実績
- (2) 内部研修(OffJT)実績
- (3) グループ・法人間・施設間交流実績

(1) 外部研修(OJT)実績

令和元年度、外部研修の実績は「表-22」のとおりです。現場職員の人手不足の為、外部研修に参加できる機会が少ない状況でした。日々現場業務をするだけでなく、職員の資質向上、ケアの質の向上を目的として、今後はWEB研修等、積極的に参加できればと考えています。

「表-22」

実施時期	研修内容	主催	参加人数
4月	医療と介護・福祉の連携	医療法人社団・社会福祉法人小羊会	3
8月	かずさスキンセミナー	君津中央病院	3
11月	看取り・ターミナル研修	千葉県社会福祉協議会	2
12月	職員定着応援研修 ～FISH哲学を活用しよう～	千葉県社会福祉協議会	1
2月	意識が変われば組織が変わる	千葉県高齢者福祉施設協会	2
2月	ラグビー精神と組織マネジメント	リコージャパン(株)	1
2月	障害者雇用納付金制度事務説明会	独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構	1
2月	職場のパワーハラスメント防止対策等説明会	千葉労働局	1
合計		15	14
備考			

(2) 内部研修(OffJT)実績

新型コロナウイルスの影響、また職員も不足している為、多人数での研修は行っていません。
KYT に関しては、12 月にも予定していましたが、ケースカンファレンスにて中止しました。感染予防研修の一環として、12 月に実施した嘔吐物処理勉強会に関しては、1 月に参加メンバーを替えて、もう 1 度行う予定だったがコロナの影響により中止となっています。

「表-23」

実施時期	研修内容	主催・講師	参加人数
11 月	KYT	研修委員会	3 人
12 月	吐物処理勉強会	研修委員会/看護師	7 人
合計	2		10

(3) グループ・法人間・施設間交流実績

今年度のグループ、法人、施設間交流の実績は「表-24」のとおりです。新型コロナウイルスの影響で、夏祭りや敬老会などの行事が縮小となり、交流もない状況です。

「表-24」

実施時期	内 容	備 考	参加人数
	なし		
合計			0

7、実習生の受け入れ

新型コロナウイルスの流行はあったものの、実習の受け入れに関しては、令和2年度も引き続き可能な限り受け入れています。「表-25」のとおりです。

「表-25」

月	依頼先	内容	実人員	延日数(実働)
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月	君津中央病院附属看護学校	老年看護実習 I	6	18
11月	ふれあいサービスセンター	初任者研修	1	3
12月				
1月				
2月				
3月				
	合計		7	21

8、職員配置状況

施設全体の令和2年度職員配置状況は、「表-26」のとおりです。

「表-26」

区 分	常 勤	非 常 勤	計(人)
施設長	1	0	1
総務	2	3	5
相談員	3	0	3
施設介護支援専門員	1	0	1
看護職員	2	5	7
介護職員	15	18	33
運転	0	1	1
清掃・洗濯等	0	8	8
主任介護支援専門員	2	0	2
居宅介護支援専門員	1	0	1
社会福祉士	3	0	3
栄養士	1	0	1
調理員	4	5	9
計	35	40	75

令和3年3月31日現在

9、資格取得状況

「表-27」

区 分	常 勤	非 常 勤	計(人)
社会福祉士	4	0	4
社会福祉主事任用資格	8	1	9
主任介護支援専門員	2	0	2
介護支援専門員	10	0	10
看護師	2	2	4
准看護師	0	3	3
介護福祉士	18	5	23
ヘルパー1級	0	1	1
ヘルパー2級	6	6	12
初任者研修	1	0	1
栄養士	1	1	2
調理師	3	2	5

令和3年3月31日現在

5. デイサービスセンター カメリアの園

【目 標】

安定した在宅生活を送っていただくために心身の維持・向上を行います
1日平均22名の利用者様の受け入れを目指します 最低ライン20名

【重点目標】

- I ニーズへの対応と稼働率の向上を行います。
- II 一日の過ごし方を利用者ご自身で計画を立てて頂けるよう、レクリエーションのバリエーションを増やします
- III 業務内容の見直しと変更を行います
- IV 介護職員としての資質向上を行います

【実践結果】

前年度は、利用者及び職員双方の減員状況があることから、利用定員を変更して運営を行ってまいりました。今年度は、稼働状況を上げるべく、継続していたレク活動の充実及び情報発信、居宅事業所との連携を基本に、新規利用者の受け入れに取り組みました。結果、年間24名の新規利用者の確保、月平均2名増の稼働率を確保することができました。契約終了された方は、11名おりました。主な理由としては、ショートステイ及び長期入所施設への移行、ご逝去され契約終了されたことであります。

今年度は、まず年度当初より、新型コロナウイルス感染症不安における利用自粛から、稼働が大幅に減少いたしました。これは緊急事態宣言が解除されるまで続きました。解除後は、再開して下さる利用者がほとんどであり、稼働状況も昨年度同等まで回復することが出来ました。

しかし、昨年までの世間との状況が大きく変化したことで、利用者が楽しみにされていた外出もできなくなってしまいました。外出することがすべてではありませんが、自宅でも外出を控えている利用者の為、感染予防対策をしっかりと行ない、短時間での外出を実施しました。皆さんとても喜ばれていたため、今後も感染対策を講じた上で、安全に外出ができるよう検討いたします。

大きな出来事として、併設特養において、1月に新型コロナウイルスのクラスターが発生した影響で、当デイサービスは、約1か月の営業休止を余儀なくされました。再開した3月においても、6割程の稼働でした。再開を待ちわびていた利用者もおられた一方で、多くの方はしばらく様子を見て、4月以降から利用再開を検討している方もいました。

次年度も世の中の現状は大きく変わっていないと思われます。水際ですが、感染対策をしっかりと行ない、利用者が安心してデイサービスを利用いただき、サービスを提供できるよう取り組みます。

1. 在宅生活を送られる手段として、デイサービスを身近に感じていただけるようにします
現在、広報誌として、行事やレクなどの様子がわかりやすいものを作成しておりますが、ボランティアの受け入れや外出などの計画が停滞しております。今後は、月間予定表は、内容を変更して発行していきます。今年度は、外部での当園の活動が全くできませんでした。次年度も、活動の幅はかなり狭くなるかと思われませんが、出来る範囲でデイサービスの有用性をお知らせしていくと共に、この状況下での新たな活動を検討します。
2. 利用者が安心してご自宅での生活ができるように支援します
 1. 前年度から継続して、朝礼・夕礼を開催し、情報共有に努めました。十分定着しています。一方で、訪問時などを利用した個別会議が、開催できていませんでしたので、開催するように調整します。
 2. 利用者ご本人が、今まで出来ていたことが出来なくなり、そこに職員が疑問を持つことが少ないように、感じられます。出来ない理由を探す前に、「出来ないから、危ないから」介助となってしまっています。そこには、職員個々に思いが異なるところもあるので、利用者視点での共通認識をそろえて対応したいと思っております

3. カメリアの園での生活を有意義に過ごすためにレクリエーションを充実します。
1. 外出時には、車からは殆ど降りずに、お花見等季節ごとの外出を実施しました。
 2. 脳トレや作業、作品作成などのプログラムを増やしました。会話を楽しむ人や脳トレを頑張る人、簡単作業が好まれる人など、個々の嗜好が確認できています。作業などは、在宅生活に直結できそうなことを検討し、生活と連動できるようにします。
4. 介護職員としての資質向上を行います。
1. 基本的な介護技術についての勉強会を行ない、資質向上のきっかけとしました。
 2. 外部研修には、感染対策の為、参加できていません。今後は、オンライン研修が多くありますので活用し、これまで参加できなかった職員も参加できるよう、取り組みます。
5. 利用者の健康が維持できるよう支援します。
- コロナウイルス対策等、感染症の注意喚起情報を利用者へ手紙を配布し、ご家族含めての周知を行いました。その効果もあったのか、今年度は、風邪等に罹る方体調不良での休みは少なかったです。

【 業務スケジュール実績 】

月	行事計画：内容	研修計画（内部）	業務計画
4月	外出：苺狩り・花見	倫理、法令遵守、介護保険理解	新規取り組みの検討 営業方法の検討
5月	母の日：プレゼント作成		
6月	父の日：プレゼント作成	事故発生等の緊急時の対応 非常災害時の対応について	新規取り組みの振り返りと改善 営業改善の実施
7月	七夕：短冊作成	食中毒対策	
8月	夏祭り：デイルームにてイベントブース設置		上半期振り返り 業務振り返り
9月	敬老会：お祝い 収穫祭	認知症理解・利用者主体のケア	営業改善後の実績確認及び修正
10月	運動会	感染症対策	業務振り返り
11月	外出：紅葉ドライブ		
12月	クリスマス：手作りおやつ	苦情対応	下半期振り返り 営業実績確認と修正
1月	お正月：初詣		
2月			年度末振り返り 次年度計画
3月	ひな祭り：手作りおやつ		次年度計画周知
その他		外部研修についてはその都度開示。 入職年数に応じた研修への参加。	

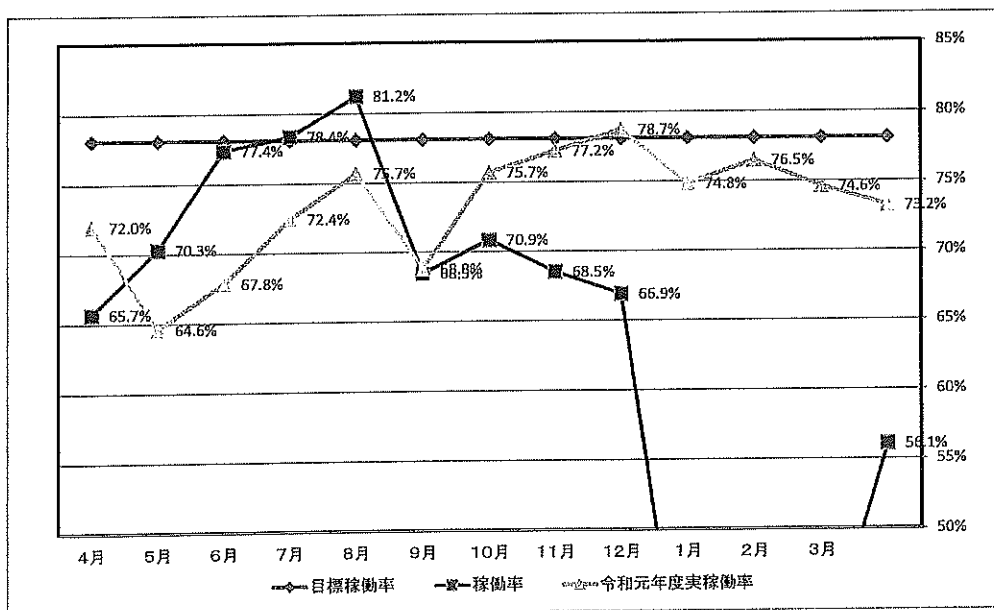
事業所：デイサービスセンター カメリアの園 利用者動向

実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
総合支援事業	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	12人	1.7%
要支援1	8人	8人	8人	7人	9人	9人	10人	10人	9人	9人	2人	7人	96人	13.9%
要支援2	10人	8人	8人	10人	10人	11人	11人	11人	11人	9人	4人	7人	110人	15.9%
要介護度1	7人	10人	9人	9人	12人	14人	16人	18人	18人	17人	6人	8人	144人	20.8%
要介護度2	10人	10人	11人	11人	11人	11人	10人	10人	11人	9人	6人	8人	118人	17.1%
要介護度3	14人	12人	14人	12人	10人	9人	9人	8人	8人	9人	2人	6人	113人	16.4%
要介護度4	4人	3人	7人	7人	7人	6人	7人	6人	6人	5人	1人	2人	61人	8.8%
要介護度5	2人	3人	3人	3人	4人	4人	4人	4人	5人	2人	1人	2人	37人	5.4%
合計	56人	55人	61人	60人	64人	65人	68人	68人	69人	61人	23人	41人	691人	100.0%

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	前年度
稼働日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	26日	24日	24日	27日	310日	310日
総合支援事業	5人	4人	4人	5人	4人	5人	4人	4人	5人	2人	1人	5人	48人	50人
要支援1	36人	32人	32人	34人	35人	40人	38人	37人	40人	19人	2人	28人	373人	332人
要支援2	52人	53人	54人	70人	62人	67人	83人	75人	78人	28人	7人	47人	676人	737人
要介護度1	52人	75人	66人	83人	86人	113人	140人	132人	137人	71人	13人	72人	1040人	684人
要介護度2	97人	106人	112人	116人	120人	115人	114人	100人	106人	54人	18人	84人	1142人	1541人
要介護度3	145人	145人	163人	143人	142人	124人	116人	96人	94人	52人	5人	62人	1287人	1733人
要介護度4	16人	16人	50人	52人	43人	39人	49人	40人	34人	15人	1人	12人	367人	239人
要介護度5	24人	26人	22人	26人	36人	31人	30人	30人	28人	11人	2人	17人	283人	359人
利用延人数	427	457	503	529	528	534	574	514	522	252	49	327	5,216	5675人
一日の利用人数	16.4人	17.6人	19.3人	19.6人	20.3人	20.5人	21.3人	20.6人	20.1人	10.5人	2.0人	12.1人	16.8人	
目標稼働率	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%
実稼働率	65.7%	70.3%	77.4%	78.4%	81.2%	68.5%	70.9%	68.5%	66.9%	35.0%	6.8%	40.4%	56.1%	56.1%
差異	-12.4%	-7.8%	-0.7%	0.3%	3.1%	-9.6%	-7.2%	-9.6%	-11.2%	-43.1%	-71.3%	-37.7%	-22.0%	-22.0%
達成率	84.1%	90.0%	99.1%	100.3%	104.0%	87.7%	90.7%	87.8%	85.7%	44.8%	8.7%	51.7%	71.8%	71.8%
令和元年度実稼働率	72.0%	64.6%	67.8%	72.4%	75.7%	68.8%	75.7%	77.2%	78.7%	74.8%	76.5%	74.6%	73.2%	73.2%



男女構成人数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	2	4	1	5	1	1	15
女	10	10	9	7	6	3	3	48

年齢・介護度別

年齢	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
65歳～75歳	0	0	0	0	1	1	0	2
76歳～85歳	4	2	2	1	5	1	3	18
86歳～95歳	7	10	10	7	5	2	1	42
96歳以上			1					1
合計	11	12	13	8	11	4	4	63

平均年齢

男性	83.9歳
女性	88.2歳

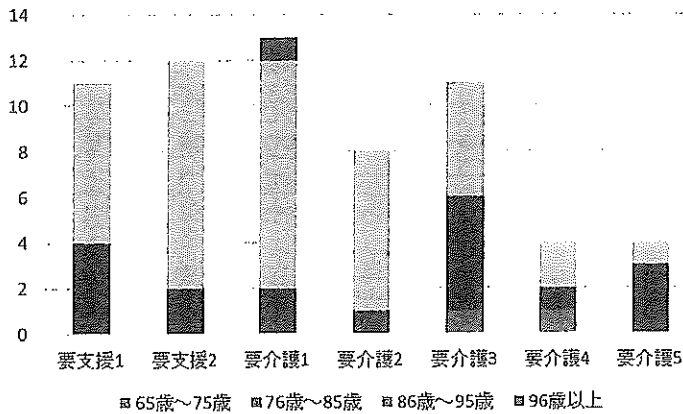
平均介護度

要支援	1.5
要介護	2.3

在住地域別

木更津市 大久保	22
木更津市 八幡台	11
木更津市 畑沢	17
木更津市 小浜	4
木更津市 畑沢南	4
木更津市 真舟	0
木更津市 羽鳥野	0
木更津市 矢那	1
木更津市 烏田	1
木更津市 港南台	1
木更津市 清見台	1
君津市 南子安	1
合計	63

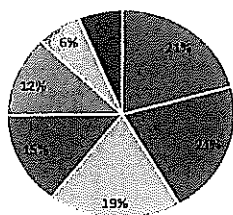
年齢・介護度別



世帯構成

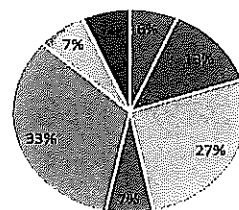
1人暮らし	18
高齢者世帯	5
息子・娘と同居	39
サ高住等	1

女性利用者割合



■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2
■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5

男性利用者割合



■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2
■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5

6.看護グループ

【 目 標 】

利用者、職員の心身の状態を把握し健康管理を行います。また、利用者の尊厳に十分配慮しながら看取り介護を行います

【重点目標】

1. 利用者の健康管理
2. 施設内感染対策の徹底
3. 看取り介護の充実
4. 職員の健康管理

【実践結果】

ここ数年職員不足による悩みがあり、オンコールの出来る常勤職員は不足していますが、非常勤職員の確保ができたことで安定と充実してきました。新型コロナ対策についても感染予防対策を講じながら、対応してきましたが、残念ながら1月にクラスターが発生してしまいました。時期的にも積極的なPCR検査、病床の受入が厳しい現状があったことと感染者の状況から、本来であれば入院が必要な陽性者の方を施設で診ることとなり、医師が常駐しない特養においては、看護師、介護職員をはじめ、大変厳しい状況でした。今回の経験を活かし、今後の感染予防対策を講じたいと思います。

1. 利用者の健康維持と疾病の早期発見・早期対応を行います

- (1) 他職種と連携し、日々の観察を行ない、病状の重症化、入院を防ぐ点については、現場介護職員と連携し、状態の詳細把握をしました。入院者は例年と比較しても延べ人数が多く、重症化する傾向にありました。コロナウイルス感染症発生後の対応については、行政、保健所の指導に沿って対応し、施設で陽性者を診ることとなりましたが、重症化される方もいました。
- (2) 入所者の状態が重症化し、酸素療法の方が増えました。ショートステイでも医療依存度の高い方の受入を行ないました。
- (3) 昨年の誤薬事故から、意識して取り組んでいます。ゼロとはなりません。大事な薬は看護師が配薬を担当し、誤薬防止の確認事項が抜ける事での事故発生でした。職員の意識の温度差があり、継続して取り組みます。
- (4) 事故後の検討、事故調査委員会には、出来るだけ出席し意見を述べています。看護職員内でも会議をはじめ、日々情報共有と検討をしています。
- (5) 個別のリハビリテーションも可能な限り、実施をしました。評価については、現場介護職員と担当者とも連携し、機能維持及び向上が見込まれる方には、引き続き取り組みますが、専門の機能訓練指導員の検討も必要であると考えます。

2. 感染症に対する意識を高め予防や蔓延防止します

- (1) 肺炎球菌ワクチンは対象者である方に、順次勧めています。インフルエンザ予防接種についても実施しました。今年度はコロナウイルス感染対策の効果もあり、インフルエンザの発生はありませんでしたが、1月にコロナウイルス感染によるクラスターが発生してしまいました。想定を超える状況でもあった為、経験を活かし、今後の感染予防対策を講じます。
- (2) 県による感染管理認定看護師の派遣を受け、研修を行ない、マニュアル作成を行ないました。1年以上に渡る、感染リスクのある現場で職員の意識を常に高めておくことは難しく感じます。ガウンテクニック研修等も実施しましたが、時間が経過するにつれ、手技を忘れてしまう為、継続して取り組んでいきます。
- (3) 常勤看護師が衛生委員会に参加するようになりました。必要に応じて施設運営会議、責任者連絡会にも参加し、各部門責任者と連携し、情報共有と発信に努めました。

- (4) コロナウイルス感染症に限らず、各感染症の初動対応等を都度確認し、マニュアルの変更を行ないました。状況によって、臨機応変に対応をしないといけないので、現場責任者をはじめ、主治医及び協力医療機関等と連携し、対応しました。
- (5) 体調不良時の連絡システムの再確認を行ないました。各部門職員が不足しているので、休みづらい状況もありますが、感染予防の為、働きかけ、部門別に業務を簡素化したり、他の職員で補なうようにアプローチをしました。職員のプライベートでの行動制限、感染対策状況までは管理できない為、施設全体での感染予防対策、自粛行動を促しました。

3. 看取り介護を充実させます

- (1) 今年度は13名の看取りをいたしました。入所時及び体調不良時には生活相談と連携しながら、本人、家族の意向を都度確認し、嘱託医、他職種と連携し、カンファレンスを重ねながら看取りを行いました。うち4名は半月の短期間での看取りが続いたことと、新型コロナウイルス感染症による施設での看取りも5名おり、看護及び介護職員に負担が大きくなりました。
- (2) グリーフケアや職員向け振り返りについては、未実施です。介護現場での振り返りに看護職員が参加する事を検討します。

4. 職員の健康管理をサポートします

- (1) 例年の年2回の深夜業務従事者、年1回の職員健康診断の実施をしました。産業医医師に確認いただき、一部の有所見者へアプローチをしています。今後は産業医と連携し、早期異常の発見と受診につなげ、職員の健康管理をすすめます。
- (2) 定例のストレスチェックを実施していますが、データ分析までには至りませんでした。懸念していたクラスター発生後のメンタルケアについては、保健所の精神保健福祉士に依頼し、職員のメンタルケアにつながりました。効果については、個別によるかと思いますが、外部からのメンタルケアの必要性はより感じました。

令和2年度 年間実績 看護グループ

	健康管理	内部・外部研修等	備考
4月	介護職員腰痛検査、未実施		
5月	深夜業務従事者健康診断実施 (健診結果の労基署へ提出)	君津中央病院 看護実習受入れ 中止 (3年生)	
6月		君津中央病院 看護実習受入れ 中止 (3年生)	
7月			
8月			先祖供養行事、中止
9月			敬老会中止
10月	全入居者胸部レントゲン実施 (葉丸病院) 全職員健康診断実施 (健診結果を労基に提出)	君津中央病院 看護実習受入れ (1年生) 外部研修(看取り)	
11月	入所者、職員インフルエンザ予防 接種実施	感染予防対策勉強会	
12月	ストレスチェック実施		毎朝、感染予防につ いて申し送る
1月		感染症対策会議(随時)	
2月	結核定期健康診断実施 状況報告(保健所)		
3月			

※週2回 入浴者バイタルチェック

月2回 高洲訪問クリニック医師による回診、歯科往診(大隅歯科)

月1回 看護グループ会議(リハビリ検討、ケアの統一、勉強会など)

7.栄養グループ

【目 標】

美味しく、楽しく、食事で季節を感じられる食事を作ります。

【重点項目】

- I キザミ食を美味しく食べられるようさらに改善をします。
- II 美味しく食べていただくための創意工夫をおこないます。
- III 食の安全への取り組みを実施します。
- IV 日常業務の効率化、最適化に取り組みます

【実践結果】

栄養グループにおいても、人員不足がここ数年解消されず、現職員の残業で対応しています。中でも、入所者、利用者、職員にも美味しい食事を提供できるよう、創意工夫を重ねて取り組んでいます。大きな目標であるキザミ食へのアプローチは、コロナ禍の影響もあり、研修等への参加が実施されなかった為、大きな改善策をあげることができませんでした。

また、1月には施設でコロナウィルス感染のクラスターが発生し、グループ内では一人の感染者で抑えることができたものの、休みを希望する職員もいた為、人員を確保することが難しくなったことと、感染を予防する為、ディスポーザー容器と、完調品の使用をさせていただきました。徐々に元に戻っていきましたが3月現在も朝食は同じ状態が続いています。

I キザミ食を美味しく食べていただけるよう改善します。

1. 特養介護職員と栄養双方の人員不足、新人教育で部門間の連携図れず、現状維持の状態です。
2. 会議等での意見を取り入れるようにし、ラウンド、残食データを継続し情報収集、共有に努めました。
3. 研修を予定していたものの、人員不足とコロナ禍で参加することはできませんでした。

II 美味しく食べていただくための創意工夫を行います。

1. 昨年度、好評だった季節を取り入れたカードを、同じく好評だったお誕生日カードと融合させ、作成し、提供をしました。特にディサービスの利用者には好評であったが、やはりカード作成者である担当者の負担があり、次年度については、方法を検討することとしました。
2. 昨年度より継続予定だった、デイサービスの選択食は、人員不足により継続できませんでした。月に一度の「パンの日」「麺の日」「変わりご飯の日」「調理師おすすめ献立の日」について注力し、クラスター発生前までは実施していました。

III 食の安全への取り組みを実施します。

1. 人員不足、コロナクラスター発生時も、食中毒等を発生させることなく、提供ができました。
2. 清掃表を活用し、確認することで日々の清掃、週、月単位の清掃を行えました。人員不足で実施できない事もありましたが、朝礼等を通じて補っていきました。
3. コロナ感染対策もあり、基本となる手洗い、マスク、手袋着用等は、例年よりもこまめになったと感じますが、更なる衛生管理の向上が必要とも感じるので、引き続き課題とします。
4. クラスターが発生し、想定していたものとは異なる非常事態を経験しました。現在も完全には元に戻せていない状況ですが、今後の対応策も必要だと感じました。災害想定をした炊き出し訓練は、定着してきたので、継続して備えます。

IV 日常業務の効率化、最適化に取り組みます。

1. グループ会議で、毎月の報告、確認等は行えているが、大きな改善には至っていません。
2. 人員不足により、残業の改善が出来なかった。残業における業務改善にて、負担を軽減に努めているが、人員不足の根本的な改善となっていない。
3. 建替え移転に関する件については、初めての事が多く、現状把握ができていないが、移転会議に参加しています。今後は施設長と連携し、具体的な想定をして検討します。

会議

- ・ 栄養G会議(毎月1回)
- ・ 栄養定例会議(毎月第2週火曜日)

令和2年度年間実績 栄養グループ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
暦行事	1日通常ならお赤飯だが桜飯に	5(火)子供の日 ランチ・おやつ		7(火)七夕 ランチ・おやつ		敬老会
お赤飯(1日)	水	金	月	水	土	火
井ぶりの日 変わりご飯の日	17(金) ピースご飯	5(火) サッパリちらし寿司 (しらす)	12(金) エビチリ丼	3(金) 牛丼	3(月) サッパリちらし寿司 (鮭)	9(水) しらす丼
麺の日	21(火) けんちんうどん	16(土) あんかけ焼きそば	4(土) 冷やし中華	7(火) そうめん	12(水) 冷やしタヌキ	5(土) 冷やし中華
パンの日	6(月) サンドイッチ	20(水) フレンチトースト	16(火) サンドイッチ	18(土) 丸パン	20(木) ココアフレンチ トースト	18(金) 蒸しパン
調理師献立 の日	30(木) 大井 中華	29(金) 金久保 たらこ 炊き込みご飯	27(土) 竹内 鮭クリ ームソース	29(木) 大井 冷製パス タ	25(火) 金久保 バジル チキン	28(月) 竹内 鮭パタ ー醤油
その他	桜おやつ	1金 八十八夜 新茶	梅仕事	手作りアイス		22火 秋分の日 おはぎ
誕生日カード	チューリップ	菖蒲	あじさい	朝顔	ひまわり	ダリア

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
暦行事	敬老会		クリスマス 24(火)ケーキ 25(水)ランチ 31(木)年越し ソバ	お節 お雑煮 7日七草粥 15日小豆粥	3(月)節分 ランチ・おやつ	3(火)ひな ランチ・おや つ
お赤飯(1日)	木	日	火	月(4日)		月
井ぶりの日 変わりご飯の日	22(木) 栗ご飯	18(水) 海鮮丼	12(土) 天丼	12(火) 鶏ごぼう炊き 込みご飯		3(水) ちらし寿司
麺の日	12(月) 焼きそば	6(金) とろろそば	3(木) あんかけ焼き そば			
パンの日	27(火) ハンバーガー	12(木) サンドイッチ	14(月) フレンチトースト	20(水) サンドイッチ		
調理師献立 の日	7(水) 大井 炒飯	28(土) 金久保 カジキ マスタード	30(水) 竹内 クリーム シチュー	8(金) 大井 鱈柚味噌		
その他	31木 ハロウィン	炊き出し訓練		三箇日の 新作おやつ	14金 バレンタイン	14土 ホワイトデー
誕生日カード	ガーベラ	シクラメン	ポインセチア	椿	フリージア	桜

8. 総務グループ

【目 標】

施設の間接部門として、各部門が円滑な業務の遂行でき、働きやすい職場作りを目指します

【重 点 課 題】

1. 利用者が笑顔で安心して利用できるようにします。
2. 働きやすい職場づくりを目指します。
3. 地域との繋がりを大切にし、広報活動の充実をします。
4. 正確な会計処理とコストの削減をして、適正な事業運営をします。

【実 践 結 果】

日々の業務に支障をきたさないように、間接部門としての役割を考えながら業務を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のために、検温・業者対応・来所者の消毒等対応で業務が増加しました。マスクをはじめとした衛生用品の不足による確保に奔走しました。また、クラスターの発生もありましたが、現場に必要な消耗品の不足がないように努め、在庫管理をすることができました。感染対策をしていたもの、発生により休む職員が多く大変な状況でしたが、入所者の為に各部署が協力して、頑張っ乗り越えることができました。ホームページや広報誌の充実については、担当者を中心に取り組んでおりましたが、クラスター発生状況のお知らせをすることで精いっぱいとなり、滞ってしまいました。部門間のコミュニケーションの円滑化を図る為に、毎年行っている職員レクリエーションの実施も中止となりましたが、企画として、年末に『波岡の家親和会大還元祭り』を実施し、職員に色々な景品を用意し、抽選会を行い好評いただきました。法令を遵守した会計処理については、グループの会計公認士と連携し、正確な処理に努めました。今後、建替え移転における会計処理方法、移転に関わる業務を計画的に行えるように準備をしていきたいと思えます。

1. 利用者が笑顔で安心して利用できるようにします。
 - (1) 事務所にいらっしゃる利用者には、真摯に対応をしました。
 - (2) ディサービス送迎時には、利用者の安全のため、乗降時からディルームへの付添いをしました。
 - (3) 朝礼で利用者の誕生日の確認をし、出来るだけ誕生日には、お祝いの言葉掛けをしました。
 - (4) 毎日の食事を楽しみにしていただく為、また、季節感を感じていただけるように、掲示物『お献立』の作成、工夫をしました。
 - (5) 施設内の環境美化のため、利用者に配慮しながら清掃したり、花の整備を行いました。
2. 職員が働きやすい職場環境を整え、日々の業務に支障をきたさないようにします。
 - (1) 車両の維持管理と設備や備品の修繕には、状況報告書や職場巡視をもとに、業務に支障をきたさないように速やかに対応しましたが、建替えを控え、修繕の判断に悩む事が多々ありました。
 - (2) 人員不足のための、求人方法の模索と採用に向けての取り組みができませんでした。
 - (3) 職員が楽しめるレクリエーションとしては、新型コロナウイルス感染症のため、毎年行っていた職員レクの開催が出来ませんでした。年末に『波岡の家親和会大還元祭り』を実施し、好評をいただきました。
3. 地域とのつながりを大切にし、広報活動の充実をします。
 - (1) 地域における公益的な取り組みとして、他部署と協働し、介護者教室の取り組みを毎年行っていました。新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、中止となりました。
 - (2) 年1回の防災倉庫の点検、賞味期限切れの食品の入替、紙類等の入替を行いました。羽釜でご飯を炊き、賞味期限間近の非常食を使用し、他部署の方と炊き出し訓練を行いました。今後は、地域の方にも参加してけるようになると思えますが、もう少し時間がかかりそうです。また、福祉非難所としての役割もあり、物品の在庫の確保と食品の賞味期限が切れないように把握の徹底をしていきます。

- (3) クラスターの発生により、ホームページと広報誌の発行が思うようにできませんでした。日常に戻りつつある中で、施設やご利用者のお元気な様子を、伝えていけるようにしていきたいと思いをします。

4. 正確な会計処理とコストの削減をして適正な事業運営をします。

- (1) 法令遵守をした会計処理に努めました。
- (2) 4月から、電気を日本テクノ(株)より、東北電力と東京ガスが出資する(株)シナジアパワーに切り替えました。コロナ感染対策として1日数回の換気を行うことで、エアコンの使用に関係してくると思いましたが、令和3年1月の使用量が大幅に増加しましたが、年間の総使用量は昨年とほぼ同様でした。電気料金は、昨年よりも11%削減でき成果をあげることができました。引き続き、職員のご協力をいただき、デマンド計を活用し、最大電力量を抑えていけるようにしていきたいと思いをします。
- (3) 物品を発注する際には、相場把握・見積比較・値段交渉を行い適正価格に努めました。

【 業務スケジュール実績 】

*年に2回位マンホール清掃

月	法人	施設行事	事務業務内容
4月		介護者教室、中止	運転免許証等確認(業務従事者・通勤者) 退職金共済職員届提出 広報誌発行
5月	理事会	職員レクリエーション、中止	運転免許証確認(業務従事者) 決算 高年齢雇用状況・障害者雇用状況報告書提出 花の植え替え
6月	評議員会	介護者教室、中止 総合防災訓練	運転免許証確認(業務従事者) 資産登記変更(千葉法務局) 財務諸表等開示システム提出 処遇改善一時金支給と実績報告
7月		夏祭り、中止 特養、ディレクで部署内で開催	運転免許証確認(業務従事者) 労働保険確定保険料申告書提出 社会保険被保険者報酬月額算定基礎届提出
8月		先祖供養、中止 暑気払い、中止	運転免許証確認(業務従事者・通勤者)
9月		ディサービス敬老会(内部にて開催)	運転免許証確認(業務従事者)
10月		総合防災訓練	運転免許証確認(業務従事者) 防災倉庫点検と入替
11月		職員レクリエーション、中止 炊き出し訓練実施	運転免許証確認(業務従事者) 花の植え替え
12月	理事会 評議員会	クリスマス会 忘年会、中止 親和会大還元祭	運転免許証確認(業務従事者・通勤者) 年賀状送付 年末調整
1月			運転免許証確認(業務従事者) 広報誌発行未発行
2月		節分	運転免許証確認(業務従事者)
3月	理事会 評議員会	ひな祭り	運転免許証確認(業務従事者)

9. 居宅介護相談センター波岡の家

【目 標】

地域とより深い関係を構築するために介護保険以外の幅広い知識も習得し、気軽に相談できる雰囲気を作るとともにサービスを提供される側の気持ちを考慮したマネジメントをします。

【重点課題】

- I より良いケアプランを提供するため、積極的に外部研修に参加し幅広い知識を習得するとともに、事例検討会を開催、客観的にプランを見直していきます。
- II 民生委員や医療機関との関係強化に重点を置き、地域包括ケアにむけた連携をします。
- III 居宅ケアマネジャーとしての視点から、施設をより良くする意見を提案していきます。

【実践結果】

本年度は当初からコロナ禍によって訪問が制限されたり、研修会が開催できなかつたりと想定外の事態が起きていたのに加えて、1月には施設内で大規模クラスターが発生し、通常業務を遂行することもできない時期があった。次年度は新型コロナの影響が継続していく前提での対策を講じていく。

- I より良いケアプランを提供するため、積極的に外部研修に参加し幅広い知識を習得するとともに事例検討会を開催、客観的にプランを見直していきます。
 1. 本年度は2名体制、月平均で要介護プラン28.6件/月、予防プラン8.5件/月が最終的な実績、年度初めに1名が勤務体系の変更があり、要介護者の受け入れ制限を掛けることになったが、それでも要介護者の受け入れが不足している。昨年度より微増はしているものの、目標には達しなかった。
 2. 利用者の3割が独居、2割強が高齢夫婦世帯であり、利用者家族への介護以外でのサポートが必要なことも増加、複合的な支援を必要とするため、介護サービスはもちろんのこと、行政サービス(障害・生保・成年後見等)や民間サービスとの連携するケースも増えてきている。
 3. 新規の受け入れケースは22件、そのうち8割が包括支援センター経由であった。受け入れ人数の上限近くまできているので、今後は利用者が減少した分を受け入れていくことになっていく。
 4. 居宅会議は、ほぼ毎月開催し事例検討会も1回行うことができた。次年度は近隣のケアマネとの事例検討会を計画、実行していく。
 5. 本年度は法定研修も思うように行われず、ケアマネジメント研究会も休止、その他の研修もWEB利用が中心となり、思うように研修に参加することができなかった。
- II 民生委員や医療機関との関係強化に重点を置き、地域包括ケアにむけた連携をします。
 1. 面会制限などがあり、相談窓口として十分な機能は果たせなかったものの、面会以外での相談は積極的に行った。
 2. 本年度は、民生委員との直接連携を行ったケースはなかった。南部地域包括支援センターを通じた連携や地域ケア会議による顔合わせに留まった。
 3. 医療機関との連携は、入院時の情報提供は概ね行っているものの面会制限等もあり、主治医と直接やり取りすることはほとんどなく、担当看護師やソーシャルワーカーとの電話でのやり取りがほとんどであった。
 4. ケアマネジメント研究会や認定調査は休止、地域のケアマネジャーとの繋がりも希薄になってしまった。
 5. 本年度は、市からの認定調査依頼はなく、介護認定の更新は自動更新がほとんどであった。
- III 居宅ケアマネジャーとしての視点から施設をより良くする意見を提案していきます。
 1. デイサービスやショートステイ、特養に周辺事業所の新型コロナウイルス対応状況等の情報提供を行い、施設としての対応を検討した。

2. 施設行事が中止や縮小されたため、関わる数が少なくなったが、送迎の受け入れや見守りが必要な利用者の対応に協力した。
3. 新型コロナウイルス感染対策のため、本年度の介護教室は開催することができなかった。

◎請求実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	5	5	7	7	7	9	9	8	8	8	7	7	87
要支援2	10	9	9	9	9	10	10	10	10	10	9	11	116
要介護1	23	24	26	23	23	29	26	27	25	25	21	23	295
要介護2	17	15	17	16	17	18	17	16	16	16	16	13	194
要介護3	10	10	10	10	10	11	10	7	7	7	9	7	108
要介護4	8	4	4	3	3	3	3	3	5	7	8	6	57
要介護5	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1	4	2	33
要支援	15	14	16	16	16	19	19	18	18	18	16	18	203
要介護	61	56	60	55	56	64	59	56	55	56	58	51	687
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
小計	76	70	76	71	72	83	78	74	73	74	75	70	892
令和元年度	56	61	65	64	70	71	68	71	73	72	71	72	814
平成30年度	43	44	45	48	50	53	54	53	57	56	58	59	620

※ 請求実績であり、担当件数とは異なる。また、月遅れ請求も含まれる。

◎新規受け入れ数および相談先

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
包括	4	0	0	2	3	2	1	1	1	1	2	0	17
病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直接相談	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
その他	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
小計	4	2	1	2	3	3	1	1	1	3	2	0	22
令和元年度	3	4	3	4	2	4	2	2	1	2	5	2	34
平成30年度	2	2	0	4	2	4	4	1	5	1	3	4	32

◎利用終了者数および終了理由

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡	2	1	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0	9
入所・入院	3	1	1	1	2	0	1	3	0	0	0	3	15
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	5	2	2	1	2	0	3	3	0	3	0	3	24
令和元年度	2	4	0	0	0	1	3	0	3	2	4	1	20
平成30年度	0	0	1	3	0	3	1	2	0	2	0	5	17

◎年齢別利用者数

	男性	女性	小計
60～64	0	1	1
65～69	3	1	4
70～74	3	4	7
75～79	8	3	11
80～84	4	10	14
85～89	7	10	17
90～94	6	12	18
95～99	0	3	3
合計	31	44	75

令和3年3月31日現在

◎地域別利用者数

	男性	女性	小計
大久保	9	18	27
八幡台	9	6	15
畑沢	5	7	12
畑沢南	2	3	5
港南台	1	3	4
小浜	1	3	4
桜井	0	1	1
桜井新町	0	1	1
矢那	3	1	4
請西	0	1	1
その他	1	0	1
合計	31	44	75

令和3年3月31日現在

◎世帯状況

状況	人数
単身世帯	22
内単身同敷地	0
夫婦のみ	18
子と同居	10
子世帯と同居	15
その他	4
合計	75

令和3年3月31日現在

◎令和2年度 外部研修参加実績

	講習会名称	主催者	会場
令和2年 7月14日	地域ケア会議(鎌足地区) 金銭管理に不安がある利用者の事例について	木更津市南部地域包括支援センター	鎌足公民館
令和3年 1月29日～ 2月12日	令和2年度 千葉県認定調査員現任研修	木更津市介護保険課	YouTube オンデマンド配信
3月25日	専門研修過程Ⅱ	千葉県介護支援専門員協議会	TKPガーデン シティ千葉

◎令和2年度 内部研修参加及び会議実績

	会議または研修名称	備考
令和2年4月11日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、新型コロナウイルス対応
5月12日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、令和元年度事業報告
6月16日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、新型コロナウイルス関係
7月14日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、新型コロナウイルス関係
8月11日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、新型コロナウイルス関係
9月15日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、前期振り返り
10月13日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・個人ケース確認
11月17日	居宅介護支援事業所会議 ケース検討会	前月実績・個人ケース確認、新規利用者事例検討
12月15日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・個人ケース確認、今年度反省
令和3年1月12日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、新型コロナウイルス関係
3月16日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、次年度事業計画検討

10.木更津市南部地域包括支援センター

【目 標】

地域(波岡・鎌足地区)の高齢者が、住み慣れた地域で、安心して尊厳ある生活を続けられるように地域包括ケアを推進していきます

【重点課題】

1. 地域包括ケアの中核機関であることを自覚し、地域支援ネットワーク構築を行います
2. 介護予防の推進に努め、高齢者の生きがいつくりに取り組みます
3. 高齢者の消費者被害や虐待等の権利侵害について、早期発見・防止します
4. 認知症カフェを通して、認知症高齢者にやさしい地域づくりをします

【実践結果】

南部地域包括支援センターは、平成19年に千葉育美会「波岡の家」に委託を受け、地域の高齢者が住み慣れた地域で、安心して過ごすことができるように日々活動してまいりました。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、地域の方との交流が思うようにできない我慢の1年でした。そのような中で地域包括として何ができるかを模索し、「コロナに負けない」介護予防のリーフレットの作成、動画配信、実態把握に新たに取り組みました。

また、1月には、法人内でクラスターが発生し、直接訪問ができない期間があり、利用者様や関係機関にご迷惑をおかけしました。しかし、その間、市や他包括センターに協力していただき、無事に業務を遂行することができました。改めて災害や感染症の発生時等においても、業務が継続できるような体制が必要だと実感しました。

1. 地域包括ケアの中核機関であることを自覚し、地域支援ネットワークの構築を図ります。
 - ① 地域の身近な相談窓口として高齢者に関する様々な相談をすべて受け止め、適切なサービスや、関係機関及び制度の利用につなげるなど、問題の解決への支援を行ってまいりました。各公民館での毎月の出張相談の開催や地域行事への参加など、地域に出向く機会は減りましたが、相談件数が大幅に減少することはありませんでした。相談内容としては、自粛生活による心身の変化に伴い、介護保険制度の利用について、認知症の悪化、虐待につながる恐れがあるケース等の相談が多かったです。
 - ② 地区民生委員協議会に毎月出席し、地域で起きた事例の紹介や見守りをしているケースの情報収集、共有を行いました。定例会の後に、各地区にて2回/年地域ケア会議を開催し、地域課題についての情報共有等も行いました。公民館の使用が制限されている間は、会議が無く情報共有が十分できない時期もありました。
 - ③ 木更津市社会福祉協議会、木更津警察署、健康福祉センター、消費者生活センター、医療機関など関係機関や団体と連携しネットワークづくりに努めました。
 - ④ ケアマネジャーからの相談に応じ、困難事例、権利擁護などの相談に対し解決に向けて支援しました。しかし、今年度はコロナ感染防止のため、木更津市ケアマネジメント研究会をはじめ各研修が開催されなかったこと、担当者会議への参加等を自粛する事も多く、十分に情報共有ができませんでした。困難事例について個別の地域ケア会議を1回開催しました。「木更津市主任ケアマ

ネットワークにて勉強会を2回/年開催しました。(3回目はコロナ感染予防のため中止) 木更津市社会資源一覧を更新し居宅支援事業所等に配布しました。※年間相談件数延べ 116 件

- ⑤ 地域を考える会に参加し、波岡東地区の自治会、生活支援コーディネーターと共に、社会資源マップづくりに取り組みました。コロナ禍により、作業が中断していますが、来年度に完成する予定です。
- ⑥ 在宅医療・介護連携協議会や各部会へ参加し、医療関係者と介護関係者との連携を深めました
- ⑦ 地域密着型運営推進会議はすべてコロナ感染防止のため中止となりました。

2. 介護予防の推進に努め、高齢者の生きがいつくりに取り組みます。

- ① 要支援1・2の方を対象とした介護予防支援業務については、要支援認定者の介護予防プランの作成を行いました。センターでは年間1,049件のプラン作成、居宅支援事業所へは1,841件を委託しました。委託先の担当者会議に参加し、適切なプランの作成についての助言なども行いました。
- ② 今年度は、感染防止のため通所型C事業、訪問型C事業の開催ができませんでした。一般高齢者への介護予防支援事業については、「きさらづ筋力アップ体操」の6団体と自主体操グループが活動を継続しています。コロナ禍で中止となる期間もありましたが、各グループの再開に合わせて参加し、状況の確認をしました。また、活動時における注意事項をチェックリストにし、看護師以外の職員が参加しても利用できるようにしました。
- ③ 地区社協主催のイベント、公民館主催の高齢者教室、老人会の会合、地域のボランティアサークル主催のサロン等も中止されることが多く、参加の機会が少なかったですが、再開されたところから順次参加し、健康相談、健康講和、介護予防体操等を実施し、地域住民との交流に努めました。
- ④ コロナ禍の緊急事態宣言のため、外出自粛となった70歳以上の独居高齢者、高齢者世帯等の安否確認を兼ねた実態把握を行いました。日頃あまり関わりのない、元気な高齢者の方に対しても包括のPRも兼ねて、パンフレットや介護予防のリーフレットを配布しました。(490世帯)
また、閉じこもりのため、介護予防体操の動画をYouTubeにて配信しました。

3. 高齢者の消費者被害や虐待等の権利侵害について、早期発見・未然に防止します。

- ① ケアマネや介護事業所からの、消費者被害についての情報提供があった際には、速やかに地区の民生委員さんにも情報共有し、注意喚起をお願いしました。また、離れて暮らす家族からの相談で、被害を未然に防ぐことができたケースもありました。
- ② 成年後見制度・日常生活自立支援事業利用等の情報提供、活用について紹介を行いました。相談については4件あり、内容としては、認知症ではないが、身寄りがなく、いざという時の不安があるとのことで、任意後見制度につながりました。また、子供が障がい者、夫も認知症になってしまったので、家族だけでは保証人が成り立たないというケースもありました。
今後も身寄りがない方、認知症高齢者が増えてくることから、制度の必要性を周知していく必要があります。一方必要性は感じているが、費用がかかることや、制限されてしまうようなイメージにより利用につながらないケースが多いことも課題です。

- ③ 虐待防止の相談・通報受付・実態把握については、家族やケアマネジャー、関係機関等からの虐待(疑いを含む)相談が27件あり、受付・実態把握を行いました。速やかに分離が必要な事例は3件でした。本人、ケアマネや医療機関からの通報があり、関係機関と連携しながら支援をしました。以前から継続してかかわっている事例については、その都度話し合いの場を持ちながらフォローをしてきましたが、結局、高齢の夫にも認知症に対する理解が得られず、分離となりました。浪費癖のある妻に対するDVから避難を支援するケースもありました。
- ④ 4包括の社会福祉士が介護サービス事業所と居宅支援事業所を対象とした虐待ネットワークについての研修を1回/年実施しました。

4. 認知症カフェを通して、認知症高齢者にやさしい地域づくりをします。

- ① 認知症サポーター養成講座の開催はコロナ禍であり1回でした。昨年度開催できなかった小学校で開催し、114名のサポーターを養成しました。
- ② 住民への周知としては、認知症カフェフェスティバルやメモリーウォークを、イオンモールにて合同で開催し、子どもから大人まで幅広い世代へのPRとなりました。波岡公民館での認知症カフェについては、公民館の使用禁止期間は中止しており、公民館の再開と共に感染対策を十分に注意し、開催しました。直接顔を合わせての会話や、他人との交流の大切さを実感しました。
- ③ 認知症地域支援推進員の活動としては、キャラバンメイトフォローアップ研修、認知症サポーターフォローアップ研修、認知症家族交流会を開催しました。認知症高齢者の家族交流会は恒例となりました認知症専門医を迎えての交流会、また認知症の人と家族の会の方を招いての交流会も好評でした。
- ④ 認知症初期集中支援チームについては、新規ケースとして対象となるケースは少ないもののある程度時間が経って、再度動きが出てきている事例や、精神疾患との違いに悩む事例についての相談ができ、助言・アドバイスを頂けました。ZOOMを活用しオンライン会議をしました。

5. その他

- ① 職員の地域包括支援センター業務に必要な知識、技術の習得に努めました。感染防止のため、中止やオンライン研修での開催が増えました。まだWeb研修環境が十分ではなく、今後のためにも環境整備が課題です。(別紙2参照)
- ② 高齢者見守りキーホルダー事業については、新規の方はもちろん、更新の方についても引き続き老人会や出張相談などで受け付けを行いました。感染防止のため電話での更新も行いました。3月末での登録者数839名です。
- ③ 法人のホームページや広報紙の「南部だより」を年2回発行し、日々の活動報告をしています。また、地区社協や、民生委員の広報誌にて当センターの紹介をしています。
- ④ 公民館からの要望に合わせた、講演会を行いました。今年はサロンや地域フォーラムの開催が中止となり、体操や老人会でのミニ講座的な情報提供を行いました。(別紙3参照)
- ⑤ 看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、認知症地域推進員の専門職会議を定期的に行い、情報交換や事例検討などを行いました。

1. 相 談

○相談件数 (単位:延件数)

①来所	90	
②電話	677	
③訪問	250	
④その他	79	実件数
合 計	1096	810

○内容、相談者別件数 (単位:延べ件数)

内容 相談者	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	合 計
	介護方法、又は生活相談(全般)	介護保険制度利用援助	福祉用具・住宅改修	福祉サービス(全般)	介護予防に関する事	虐待関係(疑含む)	成年後見制度利用支援	消費者被害	介護予防ケアマネジメント	その他	
本人	50	34	12	10	1	3	4	0	0	191	305
家族	245	184	45	32	3	5	1	1	0	126	642
介護支援専門員	18	19	1	5	0	12	0	1	1	59	116
介護サービス事業所職員	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	5
民生委員	18	11	2	2	0	1	0	0	0	32	66
近隣・知人	8	9	1	0	0	0	0	1	0	18	37
関係機関	29	37	12	7	0	9	2	1	0	75	172
その他(匿名を含む)*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	368	295	73	56	4	30	7	4	2	505	1344

2. 権利擁護業務

○内容、件数

種 別	新 規		継 続	
		(虐待合 計)		(虐待合計)
①虐待(疑含む)	身体的虐待	12	6	9
	経済的虐待	0	0	
	精神的虐待	2	2	
	性的虐待	0	0	
	介護放棄	2	1	
①成年後見制度利用		3		0
② 消費者被害		3		0
③ 困難事例		12		30
④ その他		1		3
合 計		35		42

3 会議、研修会の開催、又は参加、及びPR活動等について

《会議》

- ・民生委員定例会：波岡東(8回)波岡西(7回)鎌足(10回)
- ・木更津市地域包括連絡会(8回)・管理職会議(12回)・木更津市地域包括運営協議会(1回)・
- ・在宅医療介護連携協議会(3回)・在宅医療介護・認知症施策部会会議(15回)・生活支援部会(3回)
- ・初期集中支援チーム員会議(24回)
- ・自立支援に資する個別地域ケア会議(3回)・君津圏域認知症協議会(1回)
- ・訪問型D事業打ち合わせ(4回)・鎌足足プラン作成WG会議(2回)・わかば会会員会議(1回)
- ・波岡東地区地域を考える会(12回)・八幡台自治会区長定例会(1回)
- ・千葉県ケアマネ協議会調査研究委員会 Zoom 会議(1回)
- ・地域包括専門職会議：社会福祉士会議(10回)、看護職(10回)主任 CM 会議(8回)推進員会議(12回)
- ・地域ケア会議(2回)・大久保自主防災会議(1回)・支援調整会議(1回)
- ・予防委託分担当者会議参加：55回・困難事例カンファレンスへの参加 11回

《その他》

認知証サポーター養成講座、認知症家族交流会、サロン・老人会等にて健康相談、介護予防体操、キーホルダー受付、介護予防体操動画配信、リーフレット配布

4 介護予防支援業務(予防給付関係)

○介護予防ケアマネジメント事業

	新規		継続		合計
	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2	
直接ケアプラン作成件数	21	10	590	428	611
	24	18	803	996	827
委託ケアプラン作成件数	18	73	2817	1014	2890
合計		73		2817	2890

5 訪問状況

(単位：延回数)

実態把握訪問調査回数	新規	継続	合計
	755	1592	2347

○当月契約居宅事業所(新規)報告 ※新規契約した事業所がない場合、記載不要

契約日	事業所法人名称	法人所在地	事業所名	事業所所在地
R2.8.1	社会福祉法人みどりの風	木更津市笹子553番地	介護相談みどりの風きさらづ	木更津市笹子553番地
R2.8.1	株式会社 ケイ・ティ・サービス	市原市姉崎東二丁目2番地6 ケイティビル8階	K T在宅サポートセンター	市原市姉崎東二丁目2番地6 ケイティビル8階
R2.9.1	かめかめサービス株式会社	君津市折木沢452-1	居宅介護支援事業所 かめかめ	君津市折木沢452-1
R3.1.1	株式会社 R e C U E S T	千葉県木更津市矢那2390	フォレスト	木更津市大和 2-6-8-103

別紙1 令和2年度認知症サポーター養成研修 実績

回数	実施日	受講団体・グループ名	受講者数
1	令和2年12月23日	八幡台小学校4年生	141
令和2年度 終了者数			141

別紙2 令和2年度 研修参加実績

回数	日時	研修内容	場所	参加者
1	令和2年7月14日	千葉県キャラバンメイトフォローアップ研修	教育会館	嶋崎
2	令和2年9月12日	千葉県介護支援専門員協議会 第93回研修	アカデミアホール	東間
3	令和2年9月17日	高齢者虐待勉強会	金田地域交流センター	平野 瀬在 嶋崎
4	令和2年9月24日	主任ケアマネネットワーク勉強会	木更津市総合福祉会館	東間
5	令和2年10月2日	木更津市多職種研修会 オンライン研修	木更津市総合福祉会館	平野 東間
6	令和2年10月30日	認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修オンライン研修	木更津市総合福祉会館	小川 東間
7	令和2年11月5日	4市ケアマネ研究会、地域包括協議会合同研修オンライン研修	君津木更津医師会館	嶋崎 東間
8	令和2年11月12日	若年性認知症に関する勉強会	木更津市総合福祉会館	平野 小川 東間
9	令和2年11月14日	波岡西地区民生委員研修会(指定民児協)	木更津市総合福祉会館	嶋崎
10	令和2年12月1日, 7日	千葉県地域包括支援センター現任研修	ホテルポートプラザ千葉	小川、東間
11	令和2年12月22日	千葉県認知症サポーターステップアップ講座指導者養成研修	ホテルプラザ菜の花	東間
12	令和2年12月10日, 16日	主任ケアマネ更新研修	TKPガーデンシティ	東間
13	令和2年12月16日	多職種連携情報共有システムWEBセミナー		東間
14	令和3年1月14日	認知症予防Web講習会(ちばコグニサイズ普及事業)		小川 東間
15	令和3年3月12日	認知症地域支援推進員活動報告会 オンライン研修		東間
16	令和3年3月15日	地域緩和ケア研修Web研修		東間
17	令和3年3月18日	千葉県認知症施策推進セミナー及び市町村チームオレンジ連絡会 Web研修	ホテルプラザ菜の花	東間
18	令和3年3月19日	認知症地域支援体制推進員全国合同セミナー Web研修		小川
19	令和3年3月22日	若年性認知症理解促進、普及啓発事業 みんなの居場所を作る オンライン受講		小川 東間

令和2年度介護予防講演会

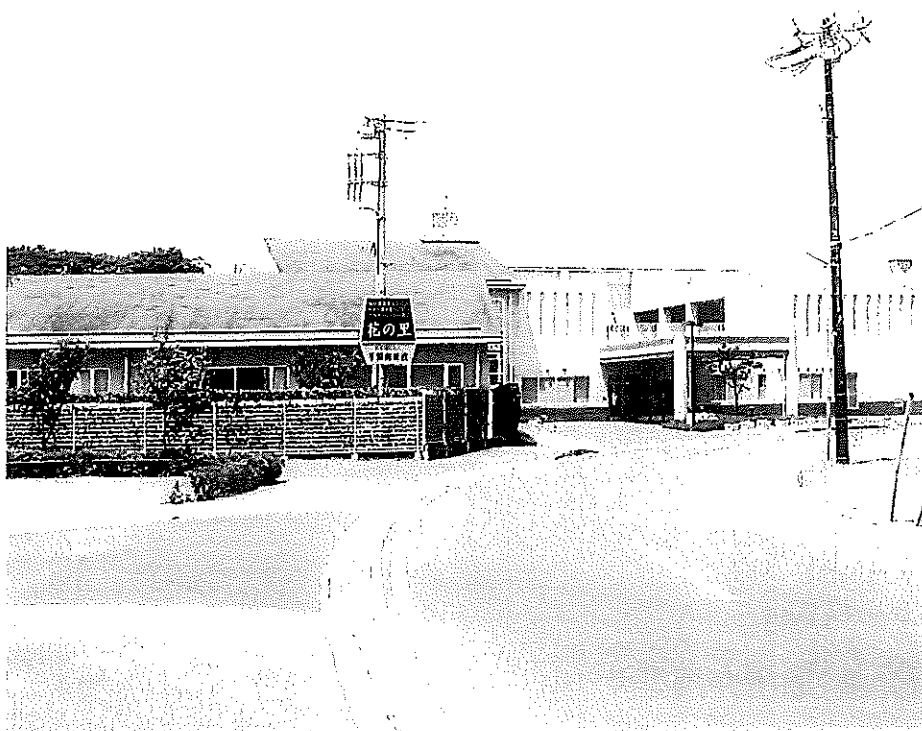
No	日付	参加人数	場所	サークル名等	内容
1	11月27日	16名	畑沢公民館	健康カレッジ	認知症予防の講話と体験
2	1月12日	31名	畑沢公民館	おやじ専科	ロコモティブシンドローム

活動名	会場	活動内容	開催日	包括で対応した 実人数/年間 延べ人数
オレンジカフェ	波岡公民館	認知症の本人・家族、地域住民や関係者の集い	毎月第4火曜日 13:00~15:00 (包括 毎回)	25名/88名
鎌足さくら体操	鎌足公民館	きさらづ筋力アップ体操 体力測定	毎週火 (包括 12回/年)	20名/120名
ドーリム八幡台	八幡台公民館	きさらづ筋力アップ体操 体力測定	毎週金 (包括 12回/年)	7名/49名
さわやか体操	八幡台公民館	きさらづ筋力アップ体操 体力測定	毎週土 (包括 12回/年)	12名/72名
大久保きらきら体操	波岡公民館	きさらづ筋力アップ体操 セラバンド体操 体力測定	毎週水 (包括 12回/年)	中止
畑沢わいわい体操	畑沢公民館	きさらづ筋力アップ体操 セラバンド体操 口腔体操 認知症予防体操 体力測定	毎週火 (包括 12回/年)	35名/230名
畑沢うきうき体操	畑沢公民館	きさらづ筋力アップ体操 セラバンド体操 口腔体操 認知症予防体操 体力測定	毎週金 (包括 12回/年)	8名/24名
八幡台イケイケ体操	八幡台公民館	きさらづ筋力アップ体操 セラバンド体操 口腔体操 認知症予防体操 体力測定	毎週水 (包括 12回/年)	25名/175名
さつき会ふれあいサロン	畑沢公民館	健康相談 血圧測定 健康講話 体操	年3回 (包括 3回/年)	中止
波岡ふるさとの会	波岡公民館	健康体操 健康・介護相談 救護	年2回 (包括 2回/年)	中止
わかば会茶話会	八幡台公民館	健康相談 血圧測定 健康講話	年10回 (包括 10回/年)	29名/57名
わかば会ふれあいサロン	八幡台公民館	健康相談 血圧測定 健康講話	年1回 (包括 1回/年)	中止
白寿会	八幡台公民館	きさポン体操 キーホルダー受付	年12回 (包括 12回/年)	39名/39名
第2松柏会	大久保自治会館	きさポン体操 キーホルダー受付	年12回 (包括 1回/年)	中止
畑沢南おしどり会	老人福祉センター	健康講話 健康体操	年12回 (包括 8回/年)	中止
小浜長寿会	小浜集会所	健康体操 健康・介護相談	年12回 (包括 9回/年)	22名/101名
八幡台自主防災会	八幡台小学校	車いす、視覚障害者の介助方法	年1回 (包括 1回/年)	中止
波岡西敬老の集い	畑沢中学校	救護 健康体操	年1回 (包括 1回/年)	中止
鎌足敬老の集い	鎌足小学校	きさポン体操 キーホルダー受付	年1回 (包括 1回/年)	中止
菜の花学級	波岡公民館	体操 ロコモチェック	年11回 (包括 3回/年)	中止
畑沢第1区会ふれあいサロン	畑沢公民館		年1回 (包括 1回/年)	中止
波岡東地区バスハイク		救護	年2回 (包括 2回/年)	中止
鎌足出張相談	鎌足公民館	健康・介護相談・キーホルダー受付	年12回 (包括 12回/年)	22名/22名
畑沢出張相談	畑沢公民館	健康・介護相談・キーホルダー受付	年12回 (包括 12回/年)	99名/99名
八幡台出張相談	八幡台公民館・移動販売	健康・介護相談・キーホルダー受付	年12回 (包括 12回/年)	10名/10名
鎌足民児協	鎌足公民館	民生委員の関わった相談内容の報告	毎月第2火曜 (包括 12回/年)	8名/64名
波岡東民児協	波岡公民館	民生委員の関わった相談内容の報告	毎月第1土曜 (包括 12回/年)	25名/225名
波岡西民児協	畑沢公民館	民生委員の関わった相談内容の報告	毎月第1土曜 (包括 12回/年)	21名/210名
包括で対応した人数の合計				407名 /1585名

社会福祉法人 千葉育美会

花の里

令和2年度 事業報告書



特別養護老人ホーム	花の里
花の里短期入所生活介護事業所	
デイサービスセンター	花の里
居宅介護相談センター	花の里
在宅介護支援センター	花の里

目 次

令和2年度事業概要	…	47
1. 理念と基本方針	…	48
2. 組織図	…	49
3. 特別養護老人ホーム	…	50
4. 介護(予防)短期入所生活介護事業所	…	52
【実績 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所】	…	53
1.入居者状況	…	53
2.行事・外出等の状況	…	55
3.健康管理	…	57
4.家族交流の状況	…	59
5.ショートステイの利用状況	…	60
6.職員研修	…	61
7.実習生受入	…	62
8.職員状況	…	62
5. 通所介護(通所介護型サービス)部門	…	64
6. 看護部門	…	67
7. 栄養部門	…	69
8. 総務部門	…	70
9. 居宅介護支援事業所部門	…	72
10. 在宅介護支援事業部門	…	73

令和2年度事業概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症との闘いの一年となりました。年度当初から緊急事態宣言が発出され、どのようなウイルスなのか、有効な対策は何なのか、非常に多くの情報が錯綜し対応は困難を極めました。特に高齢者は重症化しやすく感染は命にかかわるとのことで、高齢者施設にはより厳しい対策が求められました。しかしながら、感染対策に必要なマスクやアルコール消毒液、ガウンやグローブといった防護品はことごとく品薄となり、手に入ったとしても非常に高額で必要数を確保することが難しい状況が続きました。そんな中、入居されている方へのケアはもちろんのこと、デイサービスやショートステイ、ケアマネジャーによる居宅介護支援等のサービス提供を滞らせないよう、職員一同、錯綜する情報に振り回されながらも必死に感染防止とサービス提供に努めてまいりました。ご利用者やご家族の皆様にもご協力いただき、これまでなんとか感染を防ぐことができました。ここにきてようやくワクチン接種の具体的な動きもみられているところですが、変異型ウイルスの流行や二重、三重変異株が確認されるなど新たな脅威も出現し新型コロナウイルスとの闘いはまだまだ予断を許さない状況が続くものと思われまます。

特別養護老人ホームでは大食堂内座席の配置換えや発熱者等体調不良者への感染対応手順の見直しと徹底、換気の徹底、検温、面会対応等の対策を講じてきました。このような中、入居者の皆様の生活はこれまでとは大きく変わってしまいました。楽しみにされているご家族との面会や外出・外泊機会が無くなり、飛沫や接触を伴う行事やレクリエーションが中止、デイサービスやショートステイをご利用されている顔なじみの方との会話も出来なくなってしまいました。看取り期の方への面会対応や、密集・密接を避けた個別外出、飛沫対応を考慮した行事の実施等工夫しながら取り組んできましたが、感染対応で職員の業務負担が大きくなっていることもあり、対応としては不十分なものでした。コロナ禍という厳しい状況の中であるからこそ、入居者の皆様に少しでも楽しみをもっていただけるよう、また、お一人お一人としっかりと関わりを持てるようなケアを心掛け取り組むことが大切であると考えます。

ショートステイ部門、デイサービス部門については、ご利用前の検温やご家族も含めた体調確認、発熱・体調不良時の受診とその際のPCR検査等の実施、利用中の検温・消毒・ご利用者同士の距離の確保等で感染対策に取り組みました。ショートステイのご利用者に関しては、特養入居の方々と居住スペースを分けて対応させていただきましました。稼働状況に関しては、ショートステイ、デイサービスとも前年度と比べると2割程度ご利用が減少している状況となりました。

居宅介護支援事業所では、緊急事態宣言の発出や地域の流行状況にあわせて、訪問やモニタリング等慎重に対応してまいりました。各ご家庭や事業所等を行き来する頻度が高い職種ですので、うつらないうつさないを常に意識し対応してまいりました。

新型コロナウイルス対応については、ワクチン接種や県の定期PCR検査の実施等を有効活用しつつ、無症状感染者があるとなれば、自分が既に感染していると考え、それでも他者にうつさない行動を徹底することで施設での感染拡大を防ぐ以外無いと考えます。また、令和3年度は介護報酬改定の年となります。今回の報酬改定は0.7%のプラス改定といわれておりますが、加算等ではこれまでより低い区分となってしまうものもあり、実際はマイナスとなる事業もあります。新型コロナウイルスの影響で稼働率は下がり、感染対策物品の価格は高騰、慢性的人手不足の中、感染対策等の業務は増え、運営的には非常に厳しい状況が続きますが、新型コロナウイルスが出始めてから一年以上が経過しわかってきたことも多くあります。これまでの経験を活かし、職員一同一丸となって感染防止と事業継続の両立をはかり、地域の皆様に安心・安全な介護サービスを提供できるよう取り組んでまいります。

施設長 木田 健一

1. 理念と基本方針

【 法人理念 】

『 利用者の尊厳を守り、その人らしく

笑顔で生活できることを支援します 』

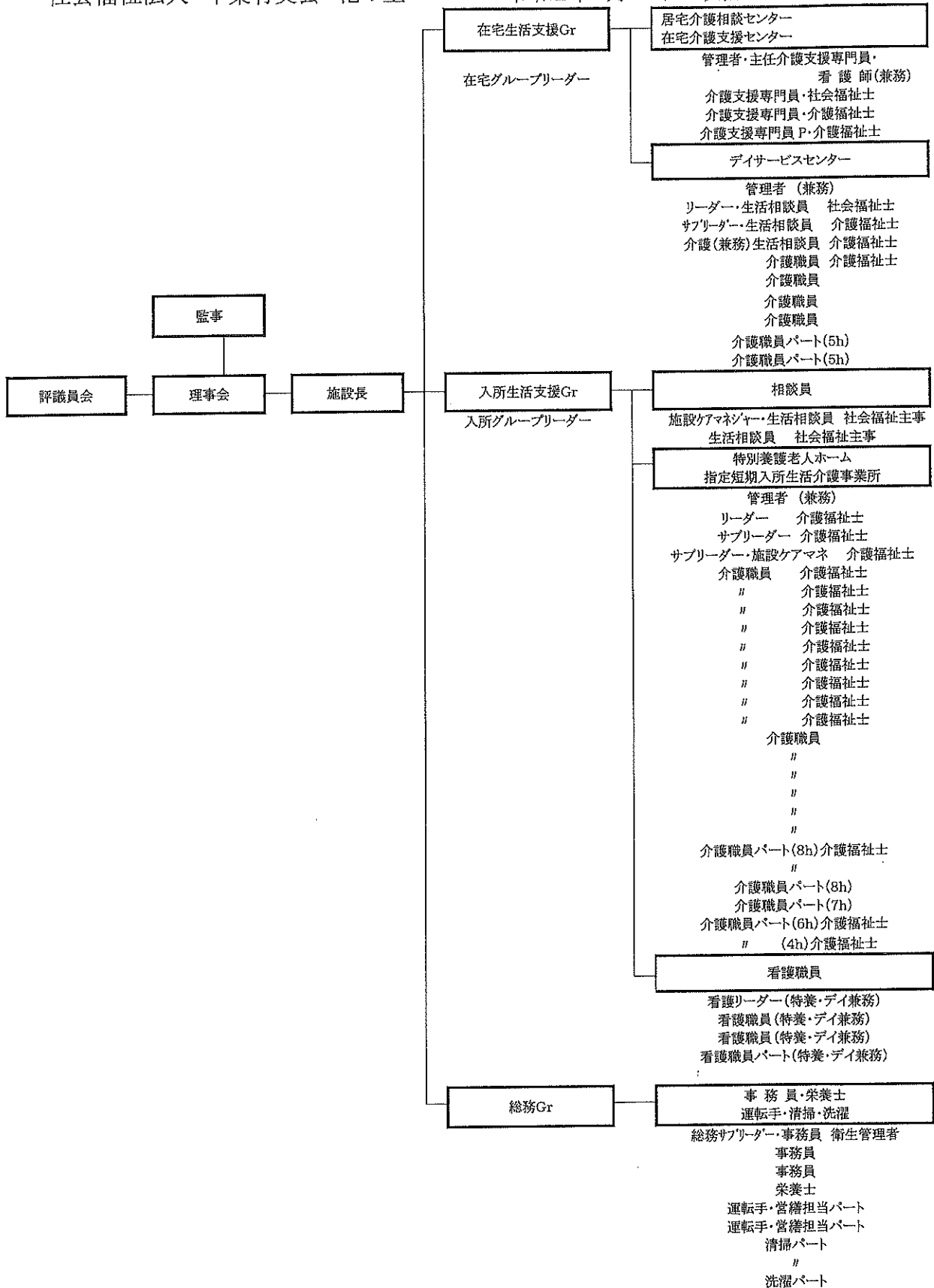
【 基本方針 】

- 利用者が居心地良く過ごせる場所であるよう、利用者目線でのケアを心がけます。
- 本人・家族の思いや生活習慣を大切にした支援を心がけます。
- 地域を中心として、本人・家族が身近で安心して相談できる相談窓口であることを心がけます。
- 他職種と連携し、施設全体で利用者・家族・地域への貢献に努めます。
- グループ間交流の活用や、職員教育の充実を図り、職員の資質・知識・技術の向上に取り組みます。

2. 組織図

社会福祉法人 千葉育美会 花の里

令和2年3月31日 改訂



3. 特別養護老人ホーム

【 目 標 】

- その人らしく、居心地良く過ごせる場所であるよう利用者目線でのケアを提供します。
- 稼働率97%を目標とします。

【 重点課題 】

1. 利用者・家族のニーズと「その人らしさ」を大切にしたケアを提供します。
2. 各係の活動をより充実させ、その情報を活用し個別ケアを推進します。
3. 新人教育をはじめ、より効果的な職員教育を行うことで、利用者目線でのケアを提供できる職員の質を確保します。
4. 退所から入所までの空床期間を短縮し、稼働率目標を達成します。

【 実践結果 】

1. 利用者・家族のニーズに加え、性格・習慣・生活歴等に注目することで「その人らしさ」を反映したケアプランを作成し、プラン内容を確実に実施出来るよう努めました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、面会が出来ない状況が続きました。利用者、家族とも不安や心配の日々であったと思われまます。このような状況であったからこそ、普段以上に日頃の様子の共有や変化があった際の早めの連絡を意識し、少しでも家族の心配を軽減できるよう努めました。特に看取り期の方については、家族との連絡を密にし、面会に関しても、感染対策をとりつつ、出来る限りお会いいただけるよう取り組み、利用者・家族のニーズに沿った看取りとなるよう努めました。

ケアプランに関しては、3 ヶ月毎のモニタリングの実施や、施設ケアマネジャーや担当職員でプランの周知に取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響で、他者との関わりが制限されたり、職員が感染対応に追われ時間が確保できなかったこともあり、本人の楽しみとなりえるような取り組みなどは実施できないことも多くありました。緊急事態宣言中などはケアプラン会議も中止せざるを得ない状況もみられました。今後は、新型コロナ対応も考慮したプランを作成し、その中でも「その人らしさ」を反映したケアプランとなるよう努めてまいります。

2. 各係が専門的な視点で個々のご利用者の現状をとらえ、その情報を元に適したケアを提供できるよう取り組みました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で毎月の係のミーティングが開催できないことがありました。会議が無くても日頃から積極的にコミュニケーションをとり、しっかりと機能していた係もありましたが、どうしても会議を中心に活動している係が多く、会議が無いとうまく機能しない場面もみられていました。今後は会議中心でなく、日々の活動を中心とする体制作りに取り組み、排泄・食事・入浴・リハビリ・レク等についてそれぞれの係員が自覚をもち、日々変化のある利用者の状況に合わせた提案ができるようレベルアップを図ります。

3. 業務改善を通し、職員のスキルアップを図りました。

今年度は勉強会やアンケートなどを活用し、今ある業務の課題についてをとりあげ、業務改善に取り

組みました。その中で、様々なレベルにある職員が問題意識を持ち、課題を共有し、解決に向け取り組みすることで職員全体のレベルアップを図りました。

4. 次期入所予定者への準備を早めに行うことで、空床期間の短縮に努めました。

新型コロナウイルスの影響で調査等制限もありましたが、早めの準備を意識して対応した結果、空床期間を少なくすることができました。

4. 介護(予防)短期入所生活介護

【 目 標 】

- 要介護者及び介護者に対し、法令遵守のもとそれぞれの要望に沿ったサービスを提供することで地域貢献を致します。
- 稼働率85%を目標とします。

【 重点課題 】

1. 利用者・家族のニーズに沿って、在宅生活の維持向上に向けたサービス提供を致します。
2. 在宅生活を意識し、ニーズに沿ったケアに柔軟に対応できるよう職員教育を行います。
3. 緊急時の受け入れ等も含め、利用希望に柔軟に対応し、地域の皆様により活用いただけるよう取り組みます。

【 実践結果 】

1. 感染対策をとりつつ、利用者・家族の在宅生活を踏まえた計画を作成し、在宅生活継続のお役に立てるよう支援してまいりました。

今年度は新型コロナウイルス対応の為、入居されている方とショートステイご利用者のスペースを完全に分ける対応をとらせていただきました。それにより、これまでの利用環境とは異なる対応も多くなり、ご利用者の皆様にご不便をお掛けしてしまいました。ショートステイのご利用に際しても、検温やご家族も含めた体調確認、発熱時のPCR検査等、様々な感染防止対策にご協力をいただきました。無症状感染者が多く報告され、高齢者は重症化のリスクが非常に高いことから、より慎重に対応させていただきました。おかげさまをもちまして、これまで感染者は発生しておりませんが、今後しばらくこの状況は続くものと思われまます。今後も皆様にご協力をいただきながら、感染対策を徹底し、このような状況の中でもご利用者それぞれの在宅生活を踏まえた支援ができるよう努めてまいります。

2. 現場の介護職員が介護者(家族)の声や自宅環境を知ることで、より在宅を意識したケアにつながるよう取り組みました。

ショートステイ係のミーティングの際に相談員から介護職員へ介護者(家族)の思いや置かれている環境、雰囲気等、可能な限りで情報提供し、在宅へつながるサービス提供を意識して取り組みました。今年度は担当相談員の体調不良や退職があり、急遽の人事異動が発生しましたが、現場職員との情報共有は徹底してまいりました。在宅生活を踏まえた介護の質向上への取り組みに関しては、新型コロナウイルスの影響もあり、予定していた研修や勉強会、係のミーティング等も開けない状況であった為実施できませんでした。今後はWEB研修なども取り入れ対応してまいります。

3. 緊急時の受け入れ等ケースに合わせた臨機応変な対応ができるよう取り組みました。

今年度は、緊急ショートステイの要請はありませんでしたが、南房総市からの高齢者生活管理指導短期宿泊事業の依頼があり対応させていただきました。

新型コロナウイルスに関しては、ワクチン接種や定期PCR検査の実施等の動きもみられているところですが、変異型の流行もみられており、まだまだ予断を許さない状況です。緊急時の受け入れに

関しては、それぞれの立場により認識が異なることもあり、PCR検査の実施等まだまだ課題も多くみられていますが、今後も最新の情報を注視し、利用者の皆様にもご協力いただきながら、安全を確保し、出来る限りのサービス提供に努めてまいります。

実績(特別養護老人ホーム・短期入所生活介護)

1. 入居者の状況

- (1)年齢・性別状況
- (2)要介護度の状態区分
- (3)在籍期間
- (4)月別延人数・入居稼働率
- (5)入退所者の状況

(1)年齢・性別の状況

令和2年度末時点での、入居者の年齢・性別状況は「表-1」の通りです。
90歳以上の方が全体の63%を占めている状況となっています。男性の平均年齢は84.3歳、女性の平均年齢は92.3歳となっています。全体の平均年齢は91.22歳となっています。

年齢・性別の状況 「表-1」

年齢	男性	女性	合計	構成比
60歳未満				
60歳～64歳				
65歳～69歳				
70歳～74歳		1	1	2%
75歳～79歳	2		2	4%
80歳～84歳	3	3	6	10%
85歳～89歳	1	11	12	21%
90歳～94歳	2	13	15	26%
95歳～99歳		17	17	30%
100歳以上		4	4	7%
合計	8	49	57	100%
平均年齢	84.3	92.3	91.22	

(2)要介護度の状況

令和2年度末時点の入所者の要介護度の状態区分は、「表-2」の通りです。
要介護度3及び4の方が全体の70%を占めています。平均要介護度は3.57となっています。

要介護度の状態区分 「表-2」

介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0	1	1	2%
要介護2	1	4	5	9%

要介護3	3	19	22	39%
要介護4	3	15	18	31%
要介護5	1	10	11	19%
合計	8	49	57	100%
平均要介護度	3.50	3.59	3.57	

(3) 在籍期間

令和2年度末時点での入居者の在籍期間は「表-3」となります。5年以上入所されている方は全体の30%となっています。また、入所されて2年未満の方は39%となっております。全体としての平均在籍期間は約3年10ヵ月となっており、最も入所が長い方は22年と9ヶ月の在籍となっております。

在籍期間

「表-3」

在籍期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	3	7	10	18%
1年以上～2年未満	2	10	12	21%
2年以上～3年未満	2	6	8	14%
3年以上～4年未満	0	7	7	12%
4年以上～5年未満	0	3	3	5%
5年以上～10年未満	1	14	15	26%
10年以上	0	2	2	4%
合計	8	49	57	100%
一人当たりの 平均在籍期間	約1年 10ヵ月	約4年 2ヵ月	約3年 10ヵ月	

(4) 入所稼働率

月別実人数、月別延人数及び入所稼働率は、「表-4」となります。月平均の利用者数は56.5人でした。平均入所稼働率は97.8%でした。

月別延日数・入居稼働率

「表-4」

月	入所者実数(月末)	入所者延人数	稼働率
4月	57	1,719	98.7%
5月	56	1,762	98.0%
6月	55	1,764	96.4%
7月	58	1,757	97.7%
8月	57	1,790	99.5%
9月	57	1,676	96.3%
10月	57	1,772	98.5%
11月	56	1,703	97.8%
12月	58	1,775	98.7%
1月	56	1,779	98.9%
2月	55	1,559	97.2%
3月	57	1,741	97.2%
平均	56.5人	1,726人	97.8%

(5) 入退所の内訳

令和2年度の入退所の内訳は、「表-5」の通りです。今年度は、13名の退所があり、13名の新規入所の受け入れを行いました。入所者は在宅生活が困難となり入所された方が9名、老健・他施設より入所された方が4名、看取らせていただいた方は10名、入院中に亡くなられた方が1名、医療が必要となり施設を退所された方が2名でした。

入退所の内訳

「表-5」

月	入所 実人員	入所内訳		退所 実人員	退所内訳		
		病院又 は施設	在宅		長期入院	死亡	その他
4月	2		2	2		2	
5月							
6月	1	1		1		1	
7月	2		2	1	1		
8月				2		2	
9月	2	1	1				
10月				1		1	
11月	1		1	2	1	1	
12月	2	1	1				
1月				2		2	
2月	1		1	1		1	
3月	2	1	1	1			1
合計	13	4	9	13	2	10	1

2. 行事・外出等の状況

- (1) 行事
- (2) レクリエーション活動の状況
- (3) 外出
- (4) ボランティア受け入れ状況
- (5) 地域行事参加・交流
- (6) 預かり金開示

(1) 行事

月々の行事については、季節感を意識しつつ、昔を思い出していただけるような行事となるよう取り組みましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、密にならないよう規模を縮小して実施するなど、感染防止対策をとりつつの実施となりました。

令和2年度実施行事

「表-6」

月	行事名	月	行事名
4月	お花見	10月	地区祭礼参加(中止)
5月	端午の節句(菖蒲湯)	11月	なし
6月	なし	12月	もちつき
7月	七夕	1月	初詣
8月	花火大会 迎え火・送り火	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り

(2)レクリエーション活動の状況

今年度はレクリエーションにつきましても、感染防止策をとりつつの活動となりました。また、換気や消毒、体調不良者への感染対応等で職員の作業量が増加し、レクリエーション活動の時間を確保することが非常に厳しくなっています。レクリエーション活動はご利用者の生活に欠かせないものであるため、業務の見直しやレクリエーションの実施方法の見直し等で対応をとってまいります。

クラブ・レクリエーション活動

「表-7」

活動種類	実施回数	参加延人数	内容
華道クラブ	7	35	季節毎のお花を生け、作品を施設内に展示しました。
園芸クラブ	常時	多数	中庭の畑で玉ねぎ、ジャガイモ、大根、里芋、そらまめ、菜花、ミョウガ、大葉などを作りました。
レクリエーション	常時	多数	リハビリ体操、頭の体操、施設内の季節毎の飾りつけ、誕生日会等行いました。

(3)外出

普段であれば、お花見や紅葉狩り、初詣等、入居されている皆様に季節を感じていただけるような外出や、入居前の生活を維持する一環として、あるいは気分転換を兼ねて、施設周辺の散歩や買い物、地域行事の見物、さらにはお墓参りや、一時帰宅など、それぞれのご希望に沿った個別外出に重点を置き外出を計画するところですが、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、外出は中止とさせていただきます。

「表-8」

月	外出先	目的	利用者数
4月	中止		
5月	中止		
6月	中止		
7月	中止		
8月	中止		
9月	中止		
10月	中止		
11月	中止		
12月	中止		
1月	中止		
2月	中止		
3月	中止		

(4)ボランティア受け入れ状況

今年度は新型コロナウイルスの影響でボランティアの受け入れはありませんでした。

ボランティア活動状況

「表-9」

団体名 (活動内容)	延べ人数
なし	0

(5) 地域行事参加・交流

地域行事への参加としては、例年、地元祭礼への参加などを中心に個々のニーズに沿った外出等に取り組んでおりましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で地域行事自体が中止となり、参加はありませんでした。

地域行事への参加

「表-10」

日 程	内 容
7 月	大原祭礼（中止）
7 月	真浦地区祭礼（中止）
9 月	吉保の祭り（中止）
10 月	地区祭礼（中止）
2 月	抱湖園桜まつり（中止）

(6) 預かり金の開示

入所者及び家族からの委任により管理を行っている入所者預かり金の出納状況については、ご希望の入所者以外に、家族（身元引受人）に開示・説明を行いました。家族には、3 ヶ月分の出納状況を示した資料を事前に送付させていただき、ご面会の際に台帳の開示・説明をおこない、承認印を受領しました。定期開示は、「表-11」の日程で行いました。また、定期以外にも、預かり金状況の開示・説明を求められた場合には、随時開示に応じています。

預かり金定期開示の状況

「表-11」

預かり金管理期間	定期開示
令和2年1月～3月分	令和2年4月
令和2年4月～6月分	令和2年7月
令和2年7月～8月分	令和2年9月
令和2年9月～12月分	令和3年1月

3. 健康管理

- (1) 往診等の状況
- (2) 医療機関への通院状況
- (3) 病院別・入院状況
- (4) 機能維持訓練の状況
- (5) 事故状況

入所者の健康管理については、基本的には嘱託医や歯科医の往診による診療を行い、その他必要に応じて、赤門整形外科内科や亀田総合病院、安房地域医療センター等の医療機関に受診しました。また、夜間帯に利用者様に状態変化がみられた際は、夜勤者から携帯当番となっている看護職員へ連絡をし、対応について指示を受けました。状態によっては看護職員が出勤し、嘱託医と連携しながら対応にあたりました。

(1) 往診等の状況

令和2年度の往診等の状況は、嘱託医の松永醫院（千倉）松永平太医師が毎週木曜日の午後に往診を行いました。歯科治療につきましては、亀田ファミリークリニック歯科センターより毎月第1、第3木曜日の午前に歯科医師が往診し、口腔ケアや虫歯の治療、義歯の作成および調整等を行いました。

(2) 医療機関への通院状況

令和 2 年度の医療機関の通院状況は、「表-12」の通りです。施設内の医療対応が限界を越えた方に対しては、嘱託医の指示により他医療機関への通院・入院援助を行いました。

「表-12」

	亀田クリニック 亀田総合病院	安房 地域医療センター	赤門整形 外科内科	松永醫院	合計
合計	6	16	1	1	24
割合	25%	67%	4%	4%	100%

(3) 病院別・入院状況

入院に関しては、「表-13」の通りです。入院理由に関しては、肺炎が1件、大腿部頸部骨折が2件、胆管炎が1件、腎不全が1件、腎盂腎炎が1件、肺水腫が1件、下血が1件でした。

「表-13」

入院状況	人数	延日数	割合
亀田総合病院	5	92	48%
赤門整形外科内科	1	33	17%
医療センター	2	68	35%
合計	8	193	100%

(4) 機能維持訓練の状況

月に4回、亀田病院から理学療法士又は作業療法士が来所し、機能維持訓練を実施しました。今年度は新型コロナウイルスの流行で9月～11月の3ヵ月間のみの実施となりました。

「表-14」

月	PT・OTによる機能評価・訓練		月	PT・OTによる機能評価・訓練	
	回数	延べ実施者数		回数	延べ実施者数
4月	中止		10月	4	87
5月	中止		11月	3	62
6月	中止		12月	中止	
7月	中止		1月	中止	
8月	中止		2月	中止	
9月	3	90	3月	中止	
合計				10	239

(5) 施設内事故状況

「表-15」

	転倒・転落	誤薬	表皮剥離	その他	計
4月	11	3	1	2	17
5月	5	1	3	4	13
6月	5	1	3	1	10
7月	7	3	3	5	18
8月	1	4	2	10	17
9月	1	4	3	7	15

10月	10	4	4	13	31
11月	5	4	2	8	19
12月	9	2	4	6	21
1月	11	7	5	8	31
2月	7	1	3	3	14
3月	11	0	7	6	24
計	83	34	40	73	230

① 重大事故件数(事故後病院受診したもの)
5件

② 事故報告結果から

事故の内容としては転倒が多くを占め、次いで表皮剥離、誤薬となっています。誤薬に関しては、定期的な予防の声掛けをしていくことで与薬ルールを徹底します。表皮剥離に関しては、引き続き、移乗介助時に四肢の位置確認を確実に行うよう呼びかけ、防止します。転倒については、認知症の為に自身のお身体の状態がわからず転倒に至ってしまうケースが多くみられています。居室でベッドから起きてこられた際の転倒事故などは、目も行き届かず防ぐことは大変難しいのですが、一つ一つの事故をしっかりと振り返り、丁寧に事故分析することで同じ事故を再度起こすことがないように努めてまいります。また、事故のみに着目するのではなく、視野を広く持ち、利用者一人一人の生活全般に目を向け、それぞれに適した防止策を講じることができるよう取り組んでまいります。

今年度は新型コロナウイルス対応もあり、特養入居者とショートステイ利用者で居住スペースを分けさせていただきました。常時近くでの見守りが必要な方への対応等で非常に難しい場面もみられていますが、感染予防と事故防止が両立できるよう工夫し取り組みます。

4. 家族交流の促進

- (1) 面会者の状況
- (2) 外泊の状況
- (3) 外出の状況

(1) 面会者の状況

入居者への面会状況は、「表-16」の通りです。1～3月にかけては感染症対策のため、面会を制限させていただきました。

「表-16」

総面会者数	1日の平均面会者数
488人	1.3人

(2) 外泊の状況

今年度は外泊された方はいらっしゃいませんでした。新型コロナウイルスの影響も考えられますが、今まで外泊されていた方も介護度の重度化により家族の負担が大きくなっており、外出に切り替えられる方がほとんどで、外泊は近年減少傾向にあります。

外泊

「表-17」

外泊	実人員	延件数	延日数
	0人	0件	0日

(3) 外出状況

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、外出された方はいらっしゃいませんでした。

外出 「表-18」

延べ人数	外出先		
	自宅	通院	その他
0	0	0	0

5. ショートステイの状況

- (1) ショートステイの稼働率
- (2) ショートステイ介護度別人数
- (3) ショートステイ利用実績の比較

(1) ショートステイの稼働率

ショートステイの稼働率は、「表-19」の通りです。

「表-19」

	利用延べ 人員	利用率
4月	207	57.5%
5月	212	57.0%
6月	228	63.3%
7月	241	64.8%
8月	233	62.6%
9月	247	68.6%
10月	264	71.0%
11月	278	77.2%
12月	289	77.7%
1月	272	73.1%
2月	275	81.8%
3月	315	84.7%
合計	3,061	69.8%

(2) ショートステイ介護度別人数

ショートステイの介護度別人数は、「表-20」の通りです。要介護度2の方が最も多く、全体の36%となっています。

「表-20」

介護度	人数	構成比
要支援1	0	0%
要支援2	1	2%
要介護1	4	10%
要介護2	14	36%
要介護3	12	30%
要介護4	6	15%
要介護5	2	7%
合計	39	100%

(3)ショートステイ利用実績の比較

2019年度との実績比較は「表-21」の通りとなります。

ショートステイ利用実績の比較 「表-21」

	2019年度	2020年度
定員数	12人	12人
延べ人員	3798	3041
1月当たりの利用者数	317	255
利用率	85.09%	69.89%

6. 職員研修

- (1)外部研修実績
- (2)内部研修実績

(1)外部研修

令和2年度は新型コロナウイルス流行の為、外部研修の受講はありませんでした。

「表-22」

実施時期	研修内容	主催	参加人数
合計		0	0

(2)内部研修実績

月に1回、介護職員を中心とした勉強会を開催しました。内容は、リーダー、サブリーダーが中心となり、新人職員に向けた介助方法の説明や、介護現場の課題となっている事柄を取り上げました。

「表-23」

実施時期	研修内容	内容	参加人数
4月	リスクマネジメント研修 転倒・転落予防研修	・リスクマネジメント及び転倒・転落予防研修受講職員による研修報告を行う予定も新型コロナウイルス流行により中止。 職員に事前配布していたアンケートの集計等を配布し対応した	0
5月	新型コロナウイルス流行により中止		-
6月	入浴介助について (新型コロナ対応)	・新型コロナウイルス流行にともなう入浴介助時の注意点(消毒や入浴順、脱衣室の利用等)を確認	13
7月	感染症対策・対応について	・新型コロナウイルスに関する対応手順について確認	18
8月	身体拘束廃止及び虐待防止について	・基本的知識の整理 ・スピーチロックがしやすい場面を想定したイメージトレーニング(シミュレーション)で対応について学ぶ	14
9月	看取り振り返り	・看取りについて、ご家族からのコメントや各部署からの報告等 交え振り返りを行う	14

10月	上半期の係活動報告と業務改善について	・各係からの上半期の活動報告 ・現状と今後に合わせて業務改善に向けた話し合いを行う	16
11月	事故防止について	・実際に施設内で発生した事故の事例検討 ・事故発生時の対応について確認 ・課題と今後の対応策の確認	18
12月	リハビリ 座位姿勢について	・食事介助時のご利用者の座位姿勢について事例検討し、どのような姿勢が安全で適しているかを考える	15
1月	新型コロナウイルス流行により中止		-
2月	新型コロナウイルス流行により中止		-
3月	新型コロナウイルス対応について	・波岡の家でのクラスター発生時に応援派遣業務にあたった介護職員からの報告と今後施設にて対応すべきことを確認	16
合計		8	124

7. 実習生の受け入れ

今年度は、実習生の受け入れはありませんでした。

8. 職員状況

- (1)職員配置状況
- (2)資格取得状況
- (3)入退職の状況

(1)職員配置状況

令和2年度職員配置状況

2021年3月31日現在「表-24」

区 分	常勤	非常勤	計(人)
施設長	1	0	1
総務	4	0	4
相談員	4	0	4
施設介護支援専門員	1	0	1
看護職員	3	1	4
介護職員	22	9	31
営繕・運転	0	2	2
清掃・洗濯等	0	3	3
居宅主任介護支援専門員	1	0	1
居宅介護支援専門員	2	1	3
計	38	15	53

(2) 資格取得状況

2021年3月31日現在「表-25」

区 分	常 勤	非 常 勤	計(人)
社会福祉士	3		3
社会福祉主事任用資格	9	1	10
主任介護支援専門員	1		1
介護支援専門員	6	1	7
看護師	2		2
准看護師	2	1	3
介護福祉士	19	6	25
ヘルパー1級	1	2	3
ヘルパー2級	3	3	6

(3) 入退職の状況

令和2年度職員入退職

「表-26」

	入 職	退 職	在 職 職 員 数
4月			55名
5月			55名
6月			55名
7月			55名
8月			55名
9月		相談員 1名(常勤)	55名
10月			54名
11月			54名
12月			54名
1月	看護 1名(非常勤)	特養介護員 1名(常勤)	54名
2月		特養介護員 1名(非常勤)	54名
3月	特養介護員 1名(派遣)	居宅ケアマネ 1名(常勤)	54名
計	2名	4名	離職率 0%

(前年度離職率 7.27%)

5. 通所介護(通所介護型サービス)部門

【 目 標 】

- 利用者が可能な限り在宅において有する能力に応じ自立した日常生活が送れるよう、心身の機能の維持及び社会的孤立感の解消をおこないます。
- 1日平均23名の利用者数の確保と安定した実績を目標とします。

【 重点課題 】

1. 利用者個々の状態に沿った在宅生活継続への必要な日常生活の世話、機能訓練を行います。
2. 利用者の満足度を追及することで長期に利用し充実感や楽しみを感じて頂けるようにします。
3. 利用者、家族のニーズを把握し、他事業所等と連携を密に取ることで柔軟な対応を行います。

【 実践結果 】

1. 利用者の安定した在宅生活の継続と家族が安心して在宅介護が出来るよう支援して参りました。

利用者個々の残存能力や心身の状態、生活環境を把握することで、安定した在宅生活の継続へ活かせるようサービス提供に取り組みました。また、家族とは日々の利用状況や些細な状態の変化に関しても、こまめに情報提供していくことで信頼関係を築き、在宅介護に関する悩みや不安について理解、共有することで共に問題解決へ向け取り組み、在宅生活継続、介護負担軽減の一助となるよう支援してまいりました。

今後はより一層の個々への機能向上および機能訓練への取り組みについて重視されることから、PDCAサイクルに基づき計画的な実施かつ定期的な評価を行うことで安定した在宅生活の継続と安心した在宅介護へ繋げていけるよう取り組んでまいります。

2. 利用者にとって生きがいや充実した時間となるよう、デイサービス利用を楽しみに感じて頂けるようなサービス提供に取り組みました。

普段外出の機会が少ない方もサービスの利用を通し住み慣れた地域にて知人と顔を合わせ会話を楽しんで頂くことで地域と人との繋がりを感じて頂けるよう環境を整え、また利用者の気持ちを尊重し寄り添い声掛けなど行っていくことで孤独感、社会的孤立の解消、自分の居場所があると感じ利用して頂けるよう努めました。

また、今年度はコロナ禍において例年に比べ出来る行事も限られる中、密を避ける等の環境に配慮し実施しました。当施設の3大行事の1つである【春の宴】は、緊急事態宣言最中でもあり中止となりましたが、昨年、台風被害の影響にて中止となった【忘年会】については感染対策へ配慮した上で開催し、食事を豪華にするなど特別感を味わって頂き、余興としては利用者が慣れ親しんだ映画を職員が演じ撮影し上映する等、利用者が楽しい一時を味わって頂けるよう取り組みました。個別対応としては創作活動や教材を使った脳トレ問題を活用し余暇活動の一環として行って頂くことやリハビリを兼ね、しめ縄やお飾り作り、畑仕事等、生活習慣や仕事歴、趣味などを取り入れ、今後も利用者個々がやりがいや主体性をもって取り組めるサービス提供を充実していけるよう工夫してまいります。

3. 利用者、家族の希望に応える柔軟なサービス内容の推進及びケアマネジャーと連携を密に取ること

で目標稼働率を達成するよう取り組みました。

利用者の気持ちを尊重しつつ家族の希望にも寄り添っていきけるよう、利用内容等により柔軟な対応を心掛けました。ケアマネジャーとは日頃から利用状況や家族の要望、自宅での状況についてなど連絡を密にとるよう心掛け信頼関係の構築に努めるようにしました。とくに感染症流行時の受け入れについては、施設の方針や利用者の体調変化など、迅速、丁寧な情報提供を心掛けました。また、新規利用相談等についても、感染予防対応に配慮した上で契約、調査、診断書、カンファレンス等の準備を迅速に行い、相談から利用までの期間短縮に努めました。今後も関係機関については細かな情報提供と丁寧迅速な対応を心掛け、利用を希望される方にスムーズにストレス無くご利用いただけるよう取り組み、地域の皆様のお役に立てるデイサービスを目指します。

【 デイサービス実績 】

(1) 利用実績

デイサービス利用状況前年度比較

「表-27」

	延べ利用者数									1日平均利用者数		
	2019年度				2020年度				差	2019年度	2020年度	差
	要支援	要介護	その他	合計	要支援	要介護	その他	合計				
4月	75	466	0	541	12	347	0	359	-182	20.8	13.8	-7.0
5月	92	468	0	560	17	431	0	448	-112	20.7	17.2	-3.5
6月	73	461	0	534	18	445	0	463	-71	21.4	17.8	-3.6
7月	56	503	0	559	16	472	0	488	-71	20.7	18.1	-2.6
8月	52	536	0	588	18	460	0	478	-110	21.8	18.4	-3.4
9月	37	426	0	463	24	457	0	481	18	22.1	18.5	-3.6
10月	55	518	0	573	22	474	0	496	-77	22.9	18.4	-4.5
11月	33	537	0	570	25	450	0	475	-95	21.9	19.0	-2.9
12月	23	543	0	566	24	465	0	489	-77	21.8	18.1	-3.7
1月	27	437	0	464	18	333	0	351	-113	19.3	14.6	-4.7

2月	29	474	0	503	20	316	0	336	-167	20.1	14.0	-6.1
3月	25	454	0	479	25	357	0	382	-97	18.4	14.2	-4.2
合計	577	5823	0	6400	239	5007	0	5246	-1154	21.0	16.8	-4.2

デイサービス休業日は日曜日、1/1～1/3

(2) 行事

デイサービス年間行事

「表-28」

月	行事内容	参加人数
4月	春の宴	中止
5月	菖蒲湯	50名
7月	七夕	56名
9月	敬老会ウィーク	105名
10月	運動会	55名
11月	芋パーティー	110名
12月	お餅つき	25名
	お飾り作り	3名
	柚子湯	52名
1月	春の大盤振る舞い	27名
2月	節分	41名
3月	ひな祭り	12名
年間行事	誕生日カード作成	67名
	畑仕事	3名
	おやつ作り	83名

(3) ボランティア受け入れ

デイサービスボランティア受け入れ実績

「表-29」

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
話し相手													
行事手伝い													
介助補佐													
合計													

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況下によりボランティア受け入れ中止。

6. 看護部門

【 目 標 】

- 利用者の皆様が健康的な生活を続けられるよう健康管理に取り組みます。
- 健康状態については適宜家族へ報告し、情報共有することで信頼関係の構築に取り組みます。

【 重点課題 】

1. 利用者の健康状態の変化を早期に把握し重症化しないよう対応にあたります。
2. 感染症について予防と蔓延防止に取り組みます。
3. 利用者・家族の意向に沿った看取りとなるよう各部連携して取り組みます。
4. 固定概念にとらわれず、良い取り組みがあれば積極的に取り入れ質の向上に取り組みます。
5. 災害時避難者や緊急利用者の受け入れ施設として機能を果たします。

【 実践結果 】

1. 利用者の健康状態について早期に把握する為に、各職種間での情報交換を密に行いました。
朝・夕の申し送りの情報や食事摂取量、体重変化、検査結果、又、数値では言い表すことの出来ない言動や、普段をよく知る介護職員からの情報等を活用し対応にあたりました。また、それらの情報を元に、嘱託医と連携することで、むやみな他科受診等で利用者に負担を掛けることなく、また重症化しないよう取り組むことができました。今後も要介護度の高い方や様々な疾病を抱えた方の入所が多くなることが予測されますが、家族、各職種間、嘱託医としっかり連携し、ご利用者の体調管理に努めてまいります。
2. 感染症予防と対応手順について職員へ周知徹底し予防に取り組みました。
毎月開催している感染症対策委員会にて、近隣の流行状況等の共有と、感染症対応のシミュレーションを含めた勉強会を部署ごとに実施してきました。新型コロナウイルスに関しては日々状況が変化する中、施設内では「感染しない」はもちろんですが「感染させない」に重点を置き、自分が無症状感染者だと考え、それでも他者にうつさない為にはどうすればよいかを意識して行動するよう呼びかけました。手洗い手指消毒の徹底、アルコール消毒液は常に持ち歩き都度消毒、マスク着用の徹底、マスクを外した際に会話をしないことの徹底、換気の徹底等どれも基本的な対応ではありますが、それが全職員に徹底されるよう呼び掛けてきました。また利用者に関しては、利用2週間前からの体調や同居ご家族の様子の確認、入居者に体調不良者が出た際の個室対応、嘱託医にも協力いただき、新規入所に際してのPCR抗原検査の実施等で対策をとってまいりました。皆様のご協力もあり、2020年度は新型コロナウイルスをはじめ、他感染症の発症も無く無事に過ごすことができました。変異ウイルスの流行等、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、ワクチン接種やPCR検査の定期的な実施等有効な対策に積極的に取り組み、感染予防に努めてまいります。
3. 利用者・家族の気持ちに寄り添い意向に沿った看取りとなるよう取り組みました。
今年度は9名の方を施設で看取らせていただきました。入所時点から食事量低下や、機能低下がみられている方が多く、早い段階でムンテラを実施し、利用者本人が今後についてを意思決定で

きるように取り組みました。また、食事に関しては、ムース食の提供や好みのものを捕食でお出しする等、厨房や家族の協力も得ながら無理なく安全に召し上がっていただけるよう工夫しました。面会については、新型コロナウイルス流行の中厳しい状況ではありましたが、看取り期の方には一定の条件のもと感染対策を徹底しご面会いただけるように取り組みました。看取りに関しては、それぞれに様々な考えや想いがあり、家族の中でも意向が異なることも度々です。今後も日頃から本人・家族の気持ちに寄り添い、できる限り意向に沿った看取りとなるよう丁寧に取り組んでまいります。

4. 研修については新型コロナウイルスの影響もありほとんど参加・実施できませんでした。

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、外部研修への参加はせず、内部研修についてもほぼ実施されない状況でした。今後はWEB研修等を活用し、看取りや感染対策の研修に参加していくことを検討しています。

5. 災害時の避難者や緊急利用者の受け入れがスムーズに行えるよう準備しました。

今年度は災害時の避難者の受け入れや緊急利用はありませんでしたが、今後も対象となる方がみられた際にスムーズな対応がとれるよう準備してまいります。

7. 栄養部門

【 目 標 】

○おいしく、楽しみとなる食事の提供をします。

【 重点課題 】

1. 食事が楽しみになるよう配慮していきます。
2. 安全な食事の提供を徹底します。
3. 委託業者や各部との連携を強化し、業務を確実且つ効率的にすすめられるよう取り組みます。

【 実践結果 】

1. 嗜好調査データの活用や、季節感を意識した盛り付け等で、より食欲が増すように工夫しました。
嗜好調査のデータや、食事量、残食量の確認、日々の食事やおやつの様子を観察で嗜好把握に取り組みました。利用者からも直接感想や要望をお伺いし、要望のあったものは献立に取り入れるなどしてより喜んで頂けるよう取り組みました。盛り付けに関しては、より食欲が増すよう見た目を工夫し、行事の際はお品書きの作成やメッセージカードを添えた雰囲気作りに取り組みご好評を頂きました。嚥下機能に低下がみられる方にはムース食等取り入れ、より安全においしく召し上がっていただけるよう取り組みました。
2. 手順やマニュアルを守り、安全な食事提供に向けチェック体制を強化しました。
日々の衛生管理や食材の管理は、委託業者のチーフと協力しながら職員の意識向上に努め、安全な食事の提供に取り組みました。新型コロナウイルス対策として、厨房職員の体調管理や手洗い手指消毒はもちろんのこと、納品・検品時の手順についても見直しをかけ感染防止に努めています。今後も新型コロナウイルスを含めた食中毒や他感染症にも充分注意し、感染防止対策と衛生管理を徹底して参ります。
災害に対する備えに関しては、備蓄量の見直しや備蓄使用に関するマニュアルの整備等をすすめてきました。しかしながら、自然災害だけでなく、新型コロナウイルスのクラスター等にも備える必要があり、まだまだ充分ではありません。今後、厨房委託業者はもちろんのこと、他事業所との連携等も視野にいれ対策していく必要があります。
3. 声掛けを意識し、無駄を省くことでミスが減らし、より効率的に業務をすすめられるよう取り組みました。
個々の食事形態や禁食の管理については、事前に献立表に注意事項の書き出しを行い対応しました。食札の更新が漏れてしまうことがあった為、ダブルチェックと声掛けの徹底で漏れの無いよう取り組みます。委託業者との情報共有については、窓口をチーフとし、それ以外の場合は書面に残すことを徹底し、連絡漏れや情報の行き違いが無いよう取り組みました。
献立作成については、年間計画や行事の内容、利用者からの要望を予め伝えておくことで、作成や相談の時間を短縮することができました。
毎日の配膳に関しても声掛けを意識し、事前の段取り確認を行うことで、配膳遅れや配膳ミスを大幅に減らすことができました。今後もこの状態を維持できるよう努めて参ります。

8. 総務部門

【 目 標 】

- 明るく居心地の良い環境づくりと施設内外の美化に取り組みます。
- 業務シェアを確立させ、正確かつ効率的に業務に取り組みます。
- 災害時、非常時には他部署と連携しご利用者の安全を守ります。

【 重点課題 】

1. 施設を利用される方々に心地よく過ごしていただける環境づくりに取り組みます。
2. 事務職員間で業務をシェアすることで、それぞれの仕事をチェック、フォローできるよう取り組みます。
3. 経費削減に取り組みます。
4. 災害時、非常時に迅速な対応ができるよう備品を整備します。

【 実践結果 】

1. 地域の方々が利用しやすいよう、明るい雰囲気作りと施設内の美化、設備の整備に取り組みました。
施設を利用される方々に快活な挨拶と丁寧な態度を心掛け、利用しやすいよう明るい雰囲気づくりに取り組みました。また、気持ちよく過ごしていただけるよう敷地内の草刈り、花壇やプランターの花植えを実施するなど環境整備にも取り組みました。設備機器においては定期的な点検を行い、優先順位を設け修繕を実施しました。さらに、今年度は年明けからの新型コロナウイルスの流行により、施設内の消毒や換気を徹底するなど感染防止対策にも取り組みました。
2. 事務担当職員内で業務内容を共有し、適宜クロスチェックを行いながら業務を正確にすすめました。
事務職員間で年間スケジュールを共有し、進捗状況を確認しながら提出物などに漏れが無いよう業務に取り組みました。月初に互いの当月の予定の確認を行い、優先順位を意識し業務にあたることで効率的に業務をすすめることができました。また、業務をシェアし適宜クロスチェックを行うことで正確に業務をすすめました。事務職員間で連携を密にし、フォローし合いながら業務が円滑に進められるよう取り組みました。
3. 水道光熱費や消耗品等について無駄を無くし経費削減に取り組みました。
水道光熱費は、毎月の推移を確認し、日々節約を意識することで経費削減につなげました。また、エアコンの適切な温度管理や照明の消し忘れがないかなど常に呼びかけ、電気代の削減に取り組みました。水道についても年度末に使用量の多い箇所に節水器具を取り付け、節水効果を検証後、効果があれば導入する予定です。物品購入においては、特に新型コロナウイルスに関する感染対策用品の極端な高値品薄状態が続き物品の確保自体が難しく、入手できても平常時の何倍もの価格となってしまいました。現在は供給状態も価格も一時より落ち着いてきましたが、業者からの情報提供やサンプルの取り寄せ等で品質や価格を確認しつつ安定確保と経費削減に努めました。
4. 日頃より災害時、非常時の状況を想定し、いざという時に機能できるよう準備しました。
避難訓練の際、小型発電機の始動訓練や、発電機の設置場所の確認をしました。防災訓練では

消火器の使い方なども教わり、災害時に備えました。地震に備えては、高い所からの落下物や避難経路に障害物が無いか点検を実施しました。また、備蓄品はリストを作成し、定期的に点検を行いました。貴重品、備品の持ち出しリストも都度見直しを行なっています。

新型コロナウイルス感染防止対策として職員の手洗・消毒・検温・マスクの着用と施設内の消毒・換気を徹底し、さらに館内放送で定期的に対策を呼び掛けるなどしてきました。引き続きご利用者の安全を守るべく感染防止対策の徹底に努めます。

9. 居宅介護支援事業所部門

【 目 標 】

○地域にとって身近で安心して相談出来る窓口として活動し、介護が必要になっても住み慣れた自宅で可能な限り自立した生活が送れるよう、利用者のご希望に添えるケアプランの作成をします。

【 重点課題 】

1. 医療機関と連携し、利用者が安心して在宅で生活出来るようなケアプラン作りを実施します。
2. 介護支援専門員としての資質向上を目指し、専門性のある対応が出来るよう研修に参加します。
3. 他部署と連携し、花の里が地域に貢献し地域に根ざした施設となるよう広報活動を行います。
4. 台風、大雨等の自然災害で支援が必要とされた利用者の生活支援を行います。

【 実践結果 】

1. 関係機関と連携し、利用者が安心して在宅で生活出来るケアプラン作りを実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため病院等の訪問はあまり出来ませんでしたが、関連機関(病院、施設等)とは電話や FAX(地域連携シート)等での連携を行い、利用者が安心して在宅で生活出来るようケアプラン作りに取り組みました。年度末には介護支援専門員が 1 名退職しましたが、在職する 3 名で引継ぎを行い、件数を維持出来るように調整しました。また担当しているご利用者及び当事業所がサービスを依頼している事業所からのコロナの感染者が出た事で、その間のご利用者の対応等で混乱する事もありましたが、それ以上広がる事はありませんでした。

担当件数は要介護 1, 068 件/年、介護予防(総合事業含む) 336件/年のプランを作成し、要介護1～2と3～5の比率は平均6:4となっております。地域包括支援センターにはケア会議の開催を依頼する事で、ご利用者が安心して生活を送れるよう対応する事が出来ました。

2. 介護支援専門員としての資質向上を目指し、専門性のある対応が出来るよう努めました。

新型コロナ感染拡大防止のため研修のほとんどが開催されなかったため、居宅内で細目に担当者の情報交換を行い、一人で抱え込む事がないよう互いに助言しあい、それぞれの職種を生かした意見交換を行い業務を実施しました。介護保険の報酬改定の事前研修はオンラインでの研修となり、令和 3 年度の改正について内容を習得しました。今回の改正内容は細かい変更も多いため、居宅内でも資料をまとめ再度改正内容を確認し、来年度に備える事が出来ました。

3. 他部署と連携し、花の里が地域に貢献し地域に根差した施設となるよう広報活動を行いました。

老人会の中止、サロンの一時閉鎖等により、広報活動は実施出来ませんでした。

4. 台風、大雨、断水等の自然災害で支援が必要とされた利用者の生活支援を行いました。

小向ダム濁水に伴う断水の可能性があり、行政と協力し事前に支援が必要な利用者の情報を共有しました。断水により自宅での生活が困難となってしまう方には入所施設を紹介し、入所する事で安心して生活をしていただく事ができました。サービス事業所にもあらかじめ断水の可能性を説明し、断水時にサービスが滞る事がないよう努めました。

10. 在宅介護支援事業部門

【 目 標 】

○地域の高齢者の方が自立し安心した在宅生活が送れるよう、身近で安心して相談できる窓口として活動します。

【 重点課題 】

1. 行政や地域包括支援センターと連携し、高齢者の課題について対応します。
2. 地域の集まりに出向き、介護保険の説明や出前講座等で地域貢献していきます。
3. 台風、大雨等の自然災害時には、援助が必要な方の支援を行います。

【 実践結果 】

1. 行政や民生委員、地域包括支援センターなどと連携し、高齢者の生活に生じた課題(介護・虐待・成年後見等)について対応してまいりました。

民生委員との直接的な交流は出来ませんでしたでしたが、独居・高齢世帯の方が入院等された際には、電話等で報告を行い、情報の共有に努めました。コロナ禍ではありましたが、介護に関する相談数は減少する事なく、可能な限り訪問をさせていただき、高齢者福祉事業(オムツ支給支援事業、配食サービス、移送ボランティア等)の申請等にも協力をさせていただきました。また、10月には行政に在支の活動の現状を理解していただく機会をいただき、来年度から在支の活動に対し、福祉サービス分の報酬が支払われる事となりました。虐待のケースについては、包括支援センターや行政と連携し、早めの対応をする事でご利用者が安心して生活する事が出来るよう支援する事が出来ました。相談件数は、実人員が92件/年、延べ人数は281件/年となっています。

2. 地域の集まりに出向き、出前講座等での地域貢献に取り組みました。

コロナ禍であり、老人会やサロンの一時中止等により、出前講座や体操を実施する事が出来ませんでした。

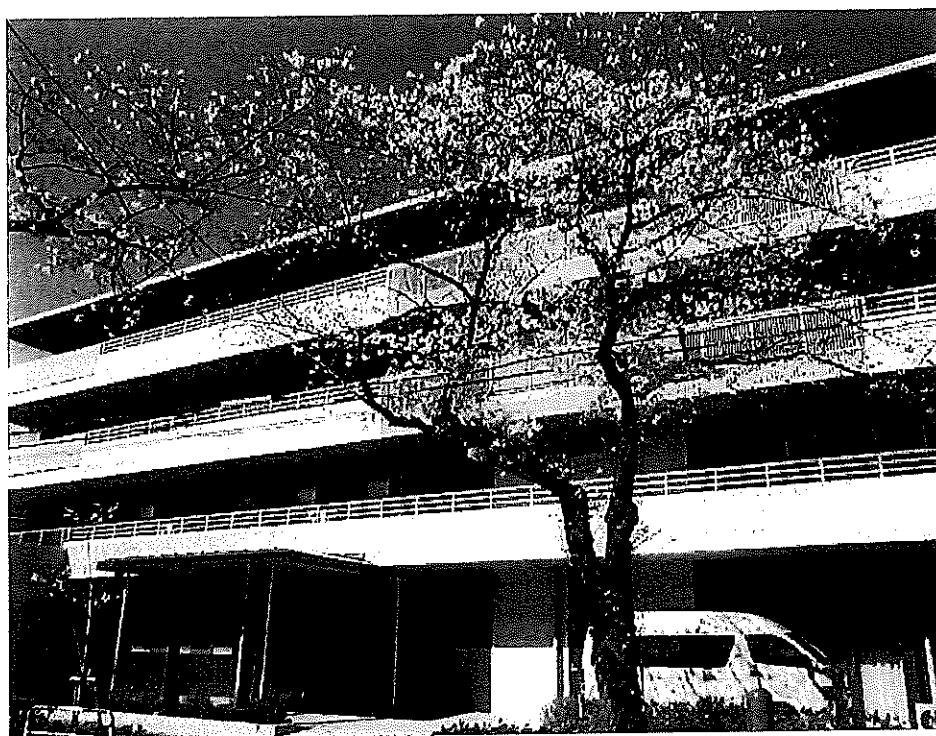
3. 自然災害時には、援助が必要な方の生活支援を行いました。

今年台風や大雨の被害はありませんでしたが、令和2年12月に小向ダム濁水により断水の懸念が生じました。断水が起きた際に自宅での生活の継続が可能か、井戸の設置の有無、井戸の可動状況等を確認するとともに、給水場所まで水を取りに行く事が可能か等担当者の状況確認を行いました。井戸の無い方や、給水場所まで行けない方に対しては、行政と情報共有をさせていただき、在宅での生活が困らないよう支援させていただきました。また、断水により在宅生活が困難な方には、早めに入所をしていただく事で安心して過ごしていただく事が出来ました。また、12月に開催された断水に関する住民説明会にも参加し、住民の不安な内容を確認する事ができました。

社会福祉法人 千葉育美会

浮間こひつじ園

令和2年度 事業報告書



特別養護老人ホーム 浮間こひつじ園

目次

令和2年度事業概要	76
1. 施設の概要	77
2. 運営理念と基本方針	78
3. 組織図	79
4. 職員配置状況	80
(1) 職員配置状況	80
ユニット型	80
従来型	80
(2) 資格取得状況	81
ユニット型（複数所持含む、従来兼務者重複記載）	81
従来型（複数所持含む、ユニット兼務者重複記載）	81
(3) 入退職者状況	82
(4) 生きがい就労	82
5. ユニット型特別養護老人ホーム	83
(1) 入居者の状況	83
(2) 健康管理	86
6. 従来型特別養護老人ホーム	90
(1) 入居者の状況	90
(2) 健康管理	92
7. 行事食	94
8. 職員研修	95

令和2年度事業概要

令和2年度は、新型コロナウイルス第1波が起こり日本中大変な状況になりましたが、施設運営につきましては、運営理念・運営方針及び基本方針に基づき施設運営を行って参りました。

新型コロナウイルス感染者が、入居者様及び職員に発生することが無かったことが幸いと思いますが、4月よりご家族の面会を禁止致し、11月より日時予約、15分の面会を開始しましたが、第3波が発生し、再度中止とさせて頂きました。ただ、ほとんどの方が、面会することができました。外部との接触を止めることで、ボランティア等の受け入れができなく、いろいろな意味で利用者様には寂しい思いをさせてしまいました。

また、職員に対し、スタンダード・プリコーション（手洗い・うがい・アルコール消毒・マスク着用・体温測定）を徹底し、私生活での行動を注意するように啓発し、入居者様が、生きがいを持ち、充実した生活を送れるように職員一同努めてきた一年でした。

そのような中前施設長秋山正芳氏、体調が悪く業務復帰することが難しくなり、9月1日付で伊藤文雄が施設長として就任し、施設運営を引き継ぎました。

入所稼働について、4月時点、ユニット型10床、従来型多床室10床及び短期入所生活介護10床が稼働できず、80床にてスタートとなりました。7月に1ユニット型稼働、3月には従来型多床室を稼働、3月末現在96%の稼働になりました。北区では特養の申込受付は北区役所が一括して行い、入居希望者は複数の施設を同時に申し込むことができるが、申込者の意思で断ると名簿から削除されてしまいます。申し込みは、年2回の前期・後期に分かれています。その制度の中で、新規入所に至るまでに時間がかかってしまうところがあるので、北区と連携しながら、問い合わせから入居までの期間を短くするように今後検討していきます。また、短期入所生活介護事業についてコロナ禍の状況にて新規に行うべきか、特養へ移行するべきか、北区と協議を行っていく予定です。

人材確保にも重点をおいて取り組んでまいりましたが、4月の時点で派遣の割合が介護職員の過半数を超える状態になっており、7月にユニットを稼働させる為にさらに増加し、人件比率70%を超える状態になった為、9月よりハローワーク主催の就職説明会、面接会参加、勤務している職員の紹介を促し、直接雇用につながるよう行動し、派遣職員の数を減らしてきました。それとともに人材育成、離職率低下に努めてまいりました。

最後に新型コロナウイルスの終息が見えない中、入居者様の尊厳を守り、生きがいがあり、楽しい施設生活ができるように、また、感染症が起こらない対策を一層行うとともに、万が一発生した場合の対策（BCP）の作成を行い、施設運営を行って参ります。

施設長 伊藤文雄

1. 施設の概要

- (1) 経営主体 社会福祉法人千葉育美会
- (2) 施設名称 特別養護老人ホーム浮間こひつじ園
- (3) 事業所情報
- ユニット型介護老人福祉施設 (ユニット型)
- 事業所番号 1371706845
- 指定年月日 平成29年10月1日
- 介護老人福祉施設 (従来型)
- 事業所番号 1371706852
- 指定年月日 平成29年10月1日
- (4) 所在地 〒115-0051 東京都北区浮間二丁目12番22号
- 電話番号 03-5970-0050
- FAX番号 03-5970-0051
- (5) 施設長 伊藤 文雄
- (6) 開設年月日 平成29年10月1日
- (7) 施設形態 特養『ユニット型』『従来型多床室』
- (8) 定員 ユニット型70名 従来型30名 ショート 10名 (未指定)
- (9) 敷地面積 2,660.95㎡
- (10) 延床面積 4,578.31㎡
- (11) 設備・装置 エレベーター2基、特殊浴槽3基、
リフト浴槽 (個牒) 11基、リフト付き福祉車両1台
- (12) 関連の社会福祉法人及び医療法人
- ・医療法人社団小羊会、医療法人社団信明会
 - ・社会福祉法人小羊会
- (13) 嘱託医療機関及び協力医療機関
- | | | |
|--------|-------------|----------------|
| 嘱託医療機関 | 医療法人社団信明会 | オリーブ訪問クリニック 駒場 |
| 協力医療機関 | 医療法人社団慈誠会 | 浮間舟渡病院 |
| 協力医療機関 | 城北デンタルクリニック | |
- (14) 防災対策整備状況
1. 緊急連絡網の設置
 2. 消防計画の届出
 3. 年2回の消防訓練・避難訓練
 4. 災害時の備蓄
飲料水100人分を3日分、野菜ジュース、調理用水、食糧70人分を3日分

2. 運営理念と基本方針

運営理念

「当たり前の生活を提供することで暮らしの継続を支えます」

運営方針

「ご入居者、ご家族とのつながりを大切に思い、喜怒哀楽をともにいたします」

「地域との関わりを大切に開かれた運営を行います」

「常に考えることができるプロの職員を育成します」

基本方針（重点目標）

「ユニットケア、グループケアの意識統一を図ります」

多職種協働の組織形成を行い、ご入居者の生活を支えるための手段を確立します。

「サロン、地域行事等を利用し、地域との交流を図ります」

浮間こひつじ園の周知とともに地域交流スペースの利用促進を進めることにより、社会福祉法人としての役割を担います。

「小集団活動を通じ、職員個々に役割と責任の意識を養います」

組織の役割や委員会、会議等を通じ職員自らが業務を組み立てる感性を育てます。

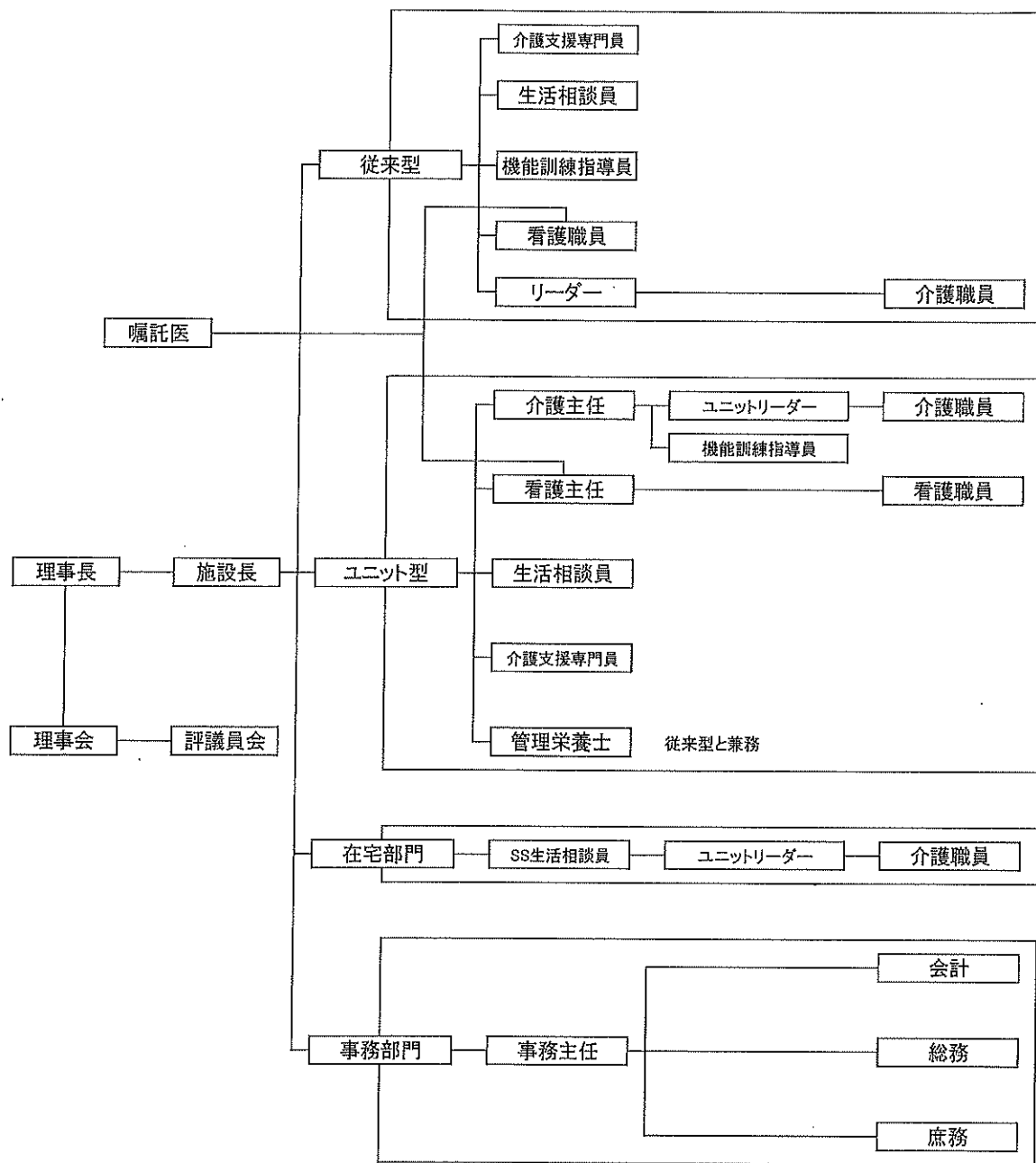
特別養護老人ホームにご入居することで、ご自宅ではできなかったことができるようになることはたくさんあります。しかし、ご自宅できていたことができなくなることもあります。自宅での「当たり前の生活を提供すること」は浮間こひつじ園で暮らしの継続を支え、ユニットケアの理念に則すると考え、この理念を立てました。

我々職員はご入居者とご家族を繋ぐ架け橋だと考えます。仲を取り持つと言えば大袈裟ですが、ご入居者の感情を大切にご家族との思いを繋げていきたいと考えました。

そのためには各職員は自身の仕事に責任とプライドを持ち、かつ謙虚に業務に当たらなければなりません。人間性が強くでる仕事だけにプロとしての自覚が求められると考えます。

【 組織人としての意識 】、【 役割と責任 】を一人一人の職員が持てるように指導していきたいと考えます。

3. 組織図



4. 職員配置状況

(1) 職員配置状況

ユニット型

区 分	常 勤	非 常 勤	派 遣	計
施設長（従来兼務）	1	0	0	1
生活相談員（介護支援専門員兼務）	1	0	0	1
介護支援専門員（常勤は相談員兼務）	1	0	0	1
介護職員	11	7	17	35
看護職員	1	2	2	5
機能訓練指導員（従来兼務）	1	0	0	1
栄養士（従来兼務）	1	0	0	1
事務員（従来兼務）	2	0	0	2
嘱託医（従来兼務）	0	1	0	1
シニアスタッフ	0	10	0	10

令和3年3月31日現在

従来型

区 分	常 勤	非 常 勤	派 遣	計
施設長（従来兼務）	1	0	0	1
生活相談員（介護支援専門員兼務）	1	0	0	1
介護支援専門員（相談員兼務）	1	0	0	1
介護職員	6	2	9	17
看護職員	1	0	1	2
機能訓練指導員（従来兼務）	1	0	0	1
栄養士（従来兼務）	1	0	0	1
事務員（従来兼務）	2	0	0	2
嘱託医（従来兼務）	0	1	0	1
シニアスタッフ	0	5	0	5

令和3年3月31日現在

(2) 資格取得状況

ユニット型（複数所持含む、従来兼務者重複記載）

区 分	常 勤	非 常 勤	派 遣	計
介護福祉士	7	2	5	14
実務者研修	1	0	3	4
初任者研修	2	2	3	7
看護師	1	1	2	4
准看護師	0	1	0	1
社会福祉士	0	0	0	0
社会福祉主事任用資格	1	0	0	1
介護支援専門員	1	0	0	1
柔道整復師	1	0	0	1
管理栄養士	1	0	0	1

令和3年3月31日現在

従来型（複数所持含む、ユニット兼務者重複記載）

区 分	常 勤	非 常 勤	派 遣	計
介護福祉士	1	0	1	1
実務者研修	1	1	0	2
初任者研修	2	1	1	4
看護師	1	0	0	1
准看護師	0	0	1	1
社会福祉士	1	0	0	0
社会福祉主事任用資格	1	0	0	1
介護支援専門員	1	0	0	1
柔道整復師	1	0	0	1
管理栄養士	1	0	0	1

令和3年3月31日現在

(3) 入退職者状況

	入職	退職	合計
4月	0名	2名	2名
5月	2名	1名	3名
6月	1名	1名	2名
7月	0名	1名	1名
8月	0名	1名	1名
9月	1名	0名	1名
10月	2名	4名	6名
11月	2名	0名	2名
12月	5名	0名	1名
1月	6名	4名	2名
2月	4名	4名	8名
3月	1名	1名	2名
合計	24名	19名	離職率 28.9%

(4) 生きがい就労

馬場業務執行理事発案の「生きがい就労」という考えの中、ユニット内での調理補助や清掃、リネン交換を近隣の高齢者等の方に短時間でも仕事として従事してもらっています。

介護職員が行わなくても、日常、家庭で行われていることやこれまで長年職業として従事していた方々に専門的にかかわってもらっています。そのことにより介護職員の負担も減りより効率的な動きが取れる ようになっています。

現在、浮間こひつじ園では
調理補助として5名、
調理補助＋リネン交換、清掃として6名、
施設内清掃として4名
の方が従事しています。

年齢・性別分布

年齢層	男性	女性	合計
65歳未満	1名	5名	6名
65歳～70歳	0名	4名	4名
71歳～75歳	2名	3名	6名
76歳～80歳	0名	0名	0名
合計	3名	12名	15名

5. ユニット型特別養護老人ホーム

(1) 入居者の状況

①年齢・性別状況

	男性	女性	合計	構成比
60歳未満	0名	0名	0名	0%
60歳～64歳	1名	0名	1名	1%
65歳～69歳	1名	0名	1名	1%
70歳～74歳	0名	0名	0名	0%
75歳～79歳	0名	3名	3名	4%
80歳～84歳	2名	2名	4名	5%
85歳～89歳	4名	22名	26名	38%
90歳～94歳	4名	19名	23名	34%
95歳～99歳	1名	6名	7名	10%
100歳以上	2名	1名	3名	4%
合計	15名	53名	68名	≒100%
平均年齢			87.7歳	

②要介護度の状態区分

介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0名	0名	0名	0%
要介護2	1名	3名	4名	5%
要介護3	2名	18名	20名	29%
要介護4	11名	22名	33名	49%
要介護5	1名	10名	11名	17%
合計	15名	53名	68名	≒100%
平均要介護度	3.7	3.7	3.7	

③負担限度額取得済者数

	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
人数	0名	6名	21名	41名	68名
構成比	0%	9%	31%	60%	≒100%

④在籍期間

在籍期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	2名	10名	12名	18%
1年以上2年未満	3名	19名	22名	32%
2年以上3年未満	9名	13名	22名	32%
3年以上	1名	11名	12名	18%
合計	15名	53名	68名	≒100%

⑤月別人数・入居稼働率

	入所者実数	入所者延日数	稼働率
4月	56名	1668日	79.42%
5月	54名	1701日	78.38%
6月	52名	1595日	75.95%
7月	57名	1695日	78.11%
8月	62名	1803日	83.08%
9月	67名	1939日	92.33%
10月	68名	2071日	95.43%
11月	67名	2015日	95.95%
12月	66名	2060日	94.93%
1月	67名	2039日	93.96%
2月	67名	1856日	94.69%
3月	68名	2100日	96.77%
平均	62.6名	1878.5日	88.22%

⑥入退居者の状況

入退居内訳	入居実人員	入居内訳		退居実人員	退居内訳			
		施設病院	在宅		在宅	長期入院	病院逝去	看取り
4月	2名	2名	0名	2名	0名	0名	2名	0名
5月	1名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	1名
6月	0名	0名	0名	2名	0名	0名	0名	2名
7月	6名	5名	1名	2名	0名	0名	0名	2名
8月	6名	5名	1名	1名	0名	0名	1名	0名
9月	5名	3名	2名	1名	0名	0名	1名	0名
10月	3名	3名	0名	2名	0名	0名	0名	2名
11月	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	1名
12月	1名	0名	1名	2名	0名	0名	0名	2名
1月	3名	2名	1名	2名	0名	0名	1名	1名
2月	3名	1名	2名	3名	1名	0名	0名	2名
3月	2名	2名	0名	1名	0名	1名	0名	0名
合計	32名	23名	9名	20名	1名	1名	5名	13名

⑦入居調整

	名簿問合せ	アセスメント	入居判定可	入居判定不可	実入居
4月	0件	0件	0件	0件	0名
5月	0件	0件	0件	0件	0名
6月	28件	16件	9件	0件	9名
7月	19件	9件	9件	0件	9名
8月	9件	3件	1件	1件	1名
9月	0件	0件	0件	0件	0名
10月	6件	1件	1件	0件	1名
11月	0件	0件	0件	0件	0名
12月	7件	4件	4件	0件	4名
1月	4件	2件	2件	0件	2名
2月	9件	3件	3件	0件	3名
3月	3件	2件	2件	0件	2名
合計	85件	40件	31件	1件	31名

⑧食事状況

全介助	一部介助	見守り	自立	計
15名	20名	26名	7名	68名

⑨食事形態状況

主食		副食	
形態	人数	形態	人数
常食	14名	常食	8名
全粥	25名	一口大	20名
軟飯	16名	刻み	20名
ミキサー	13名	極刻み	7名
経管栄養	0名	ミキサー	13名
合計	68名	合計	68名

⑩入浴状況

全介助	一部介助	自立	計	個浴	リフト	機械浴
38名	27名	3名	68名	1名	51名	16名

⑪移動状況

車椅子	リクライニング 車椅子	ティルト式 車椅子	歩行器・杖	合計
49名	3名	3名	13名	68名

(2) 健康管理

①医療機関への通院状況

受診病院と受診理由

浮間舟渡病院	16件
健康長寿医療センター	8件
北医療センター	63件
明理会中央総合病院	9件
帝京大学付属病院	4件
その他	15件
合計	115件

定期受診	35件
発熱	3件
整形外科	12件
皮膚科	23件
内科	11件
その他	31件
合計	115件

月別受診件数

4月	7件
5月	4件
6月	9件
7月	11件
8月	12件
9月	6件
10月	13件
11月	10件
12月	11件
1月	10件
2月	8件
3月	14件
合計	115件

②病院別・入院状況

	人数	延べ日数
佐藤病院	1名	24日
浮間舟渡病院	17名	547日
北医療センター	14名	149日
健康長寿医療センター	1名	10日
赤羽リハビリテーション病院	3名	65日
戸田病院	4名	95日
練馬総合病院	2名	32日
赤羽中央病院	4名	95日
高島平中央総合病院	2名	30日
合計	48名	1047日

③医療行為一覧

胃瘻	褥瘡処置	点滴	酸素療法	吸引
0名	0名	0名	0名	1名
尿道留置カテーテル	インスリン注射	血糖測定	ウロストミー	人工肛門
0名	0名	0名	1名	2名

④看取り介護の状況報告

	性別	年齢	主な既往	看取り開始日	看取り終了日	看取り日数
1	女性	95歳	脳梗塞後遺症・認知症等	R1. 11月20日	5月27日	189日
2	女性	101歳	アルツハイマー型認知症	4月29日	6月12日	44日
3	女性	91歳	脳梗塞後遺症・アルツハイマー型認知症	5月20日	6月23日	33日
4	男性	101歳	認知症・廃用症候群	6月19日	7月7日	19日
5	女性	90歳	アルツハイマー型認知症・間質性肺炎等	6月24日	7月22日	28日
6	男性	89歳	アルツハイマー型認知症・脳梗塞等	9月27日	10月4日	7日
7	女性	90歳	認知症・心不全等	10月7日	10月8日	2日
8	女性	90歳	アルツハイマー型認知症・多発生脳梗塞	11月4日	11月5日	2日
9	女性	98歳	亜急性心筋梗塞・慢性心不全等	9月2日	12月5日	94日
10	女性	89歳	アルツハイマー型認知症・脳梗塞	12月6日	12月9日	4日
11	男性	96歳	アルツハイマー型認知症等	1月26日	1月30日	5日
12	男性	89歳	慢性心不全・左胸水貯留等	2月11日	2月16日	6日

トピックス

12月5日 A様 ご逝去

氏名 A様 女性

生年月日 大正11年3月30日 98歳

要介護度 要介護3

キーパーソン A様 長男様

入居日 平成29年12月3日

主疾患 亜急性心筋梗塞 (H29年頃～)・慢性心不全・認知症疑い

死因 老衰

山梨県生まれ。結婚を機に北区に移り住み子どもを4人もうけたが、45歳の時に夫を亡くし東邦生命で27年間保険の外交員を務めた。長男宅の近所で独居を続けていたが、H29年1月に心不全で帝京大学病院に入院、滝野川病院でリハビリ後4月から長男宅に同居。

H29年12月3日に当園へ入居されていた。高齢ながら自立心の強い方で今年7月に尻餅をついて腰椎圧迫骨折を受傷するまでは独歩も保たれていた。

本年春から徐々に体重増加あったが、7月末で急に3kg増と計5kgの体重増加があったため血液検査実施。NT-proBNPが9797と高値であったため、R2.9.2、寺島医師から長男御夫妻へ状態を説明していただき今後の対応を検討した。長男様は心筋梗塞時 (H29) すでに帝京大学病院でも「年齢を考えるといつ何が起こってもおかしくない状態」と説明を受け、本人様からも延命は

望まないと聞いておられたとのこと。このまま園で最期まで過ごさせたいと承り、看取りの事前確認書を作成いただいていた。

12月に入って「もういらぬです」と食事量が急減され好きな物をおやつで提供するなどしていたが、12月5日「朝食中に呂律が回らなくなり様子がおかしいと8時10分に介護職員から連絡があり対応している」と看護職員から報告を受け訪室すると、呼吸停止されているのを発見した（AM8:33）。PM0:37、医師到着し死亡確認。14時半、葬儀会社到着し、職員7名でお見送りした。

家族様からは「園に来てちょうど3年。ここで見てもらえたから、ここまで長く生きることができたと感謝しています」とお言葉を頂戴した。

2月16日 B様 御逝去
 氏名 B様 男性
 生年月日 昭和6年11月26日 89歳
 要介護度 要介護4
 キーパーソン B様 長男様
 入居日 平成31年2月16日
 主疾患 左胸水貯留・MDS疑い・混合型認知症・慢性心不全
 死因 老衰

旅行代理店を経営。2男1女をもうけ、尿管癌で腎摘出はあったが（H17板橋中央病院）、子どもたちの独立後も奥様と自宅で生活されていた。しかし、奥様も透析を受けるなど体調が悪化され、H30.5.19、ニチイケアセンター戸田笹目に入居。H31.2.16浮間こひつじ園へ移った。

H31.2.23～3.18、誤嚥性肺炎で北医療センターへ入院。その頃から胸水を指摘されていた。R2.10.7、血液検査の結果、入居時には10あったヘモグロビン値が5～6月で8や9、10月には7と急激に貧血が進んでいると寺島医師から家族へICがあり、北医療センターを受診。MDS疑いであるものの骨髄穿刺や輸血は延命の意味合いが強いため服薬で様子を見ると説明を受けてこられた。

R2.12.24～R3.1.4、誤嚥性肺炎で入院（北医療センター）。酸素療法が開始され退院後もHOT使用。嚥下機能の低下顕著で、飲食しても吸引でほとんど引けてしまう状況となりR3.2.11、今後の方針をICにて検討。家族様、延命は希望されず飲食も中止し看取り介護を開始。R3.2.16、御逝去となった。

⑤施設内事故状況

事故件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	-
事故件数	8件	18件	7件	21件	15件	18件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故件数	12件	14件	16件	13件	21件	20件	183件

分類

転倒転落	外傷	薬関係	離設	異食	その他	合計
53件	75件	32件	0件	5件	18件	183件

行政報告

転倒転落	外傷	薬関係	離設	異食	その他	合計
2件	0件	0件	0件	0件	0件	2件

6. 従来型特別養護老人ホーム

(1) 入居者の状況

①年齢・性別状況

	男性	女性	合計	構成比
60歳未満	0名	0名	0名	0%
60歳～64歳	0名	0名	0名	0%
65歳～69歳	1名	0名	1名	4%
70歳～74歳	1名	0名	1名	4%
75歳～79歳	1名	1名	1名	4%
80歳～84歳	1名	0名	1名	4%
85歳～89歳	2名	9名	11名	42%
90歳～94歳	3名	3名	6名	26%
95歳～99歳	0名	3名	3名	12%
100歳以上	1名	0名	1名	4%
合計	10名	16名	26名	≒100%
平均年齢			87.7歳	

②要介護度の状態区分

介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0名	0名	0名	0%
要介護2	0名	0名	0名	0%
要介護3	2名	8名	10名	39%
要介護4	7名	5名	12名	46%
要介護5	1名	3名	4名	15%
合計	10名	16名	26名	≒100%
平均要介護度	3.9	3.7	3.76	

③負担限度額状況

1段階	2段階	3段階	4段階	合計
0名	6名	12名	8名	26名
0%	23%	46%	31%	構成比

④在籍期間

在籍期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	2名	10名	12名	46%
1年以上2年未満	1名	0名	1名	4%
2年以上3年未満	2名	2名	4名	15%
3年以上	3名	6名	9名	35%
合計	8名	18名	26名	≒100%

⑤月別人数・入所稼働率

	入所者実数	入所者延日数	稼働率
4月	18名	540日	60.00%
5月	19名	581日	62.47%
6月	19名	570日	63.33%
7月	19名	589日	63.33%
8月	19名	589日	63.33%
9月	18名	551日	61.22%
10月	18名	558日	60.00%
11月	20名	571日	63.44%
12月	19名	616日	66.23%
1月	20名	592日	63.65%
2月	20名	560日	66.66%
3月	26名	684日	73.54%
平均	20名	583.4日	63.93%

⑥入退居者の状況

入退居の内訳	入居実人員	入居内訳		退居実人員	退居内訳		
		施設病院	在宅		長期入院	病院逝去	看取り
4月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
5月	1名	0名	1名	0名	0名	0名	0名
6月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
7月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
8月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
9月	0名	0名	0名	1名	0名	1名	0名
10月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
11月	2名	2名	0名	0名	0名	0名	0名
12月	0名	0名	0名	1名	0名	0名	1名
1月	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名
2月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
3月	6名	4名	2名	0名	0名	0名	0名
合計	10名	7名	3名	2名	0名	1名	1名

⑦入所調整

	名簿問合せ	アセスメント	入居判定可	入居判定不可	実入居
4月	0件	0件	0件	0件	0名
5月	0件	0件	0件	0件	0名
6月	0件	0件	0件	0件	0名
7月	0件	0件	0件	0件	0名
8月	9件	1件	0件	0件	0名
9月	3件	0件	0件	0件	0名
10月	3件	1件	1件	0件	1名
11月	0件	0件	0件	0件	0名
12月	3件	1件	0件	0件	1名
1月	16件	7件	7件	0件	7名
2月	0件	0件	0件	0件	0名
3月	0件	0件	0件	0件	0件
合計	34件	10件	8件	0件	9名

⑧食事介助状況

全介助	一部介助	見守り	自立	計
4名	8名	10名	4名	26名

⑨食事形態状況

主食		副食	
形態	人数	形態	人数
常食	10名	常食	8名
全粥	9名	一口大	6名
軟飯	4名	刻み	7名
ミキサー	3名	極刻み	2名
経管栄養	0名	ミキサー	3名
合計	26名	合計	26名

⑩入浴状況

全介助	一部介助	自立	計	個浴	リフト	機械浴
5名	19名	2名	26名	2名	19名	5名

⑪移動状況

車椅子	リクライニング車椅子	テイルト式車椅子	歩行器・杖	合計
17名	2名	1名	6名	26名

(2) 健康管理

①医療機関への通院状況

浮間舟渡病院	4件
健康長寿医療センター	0件
北医療センター	5件
明理会中央総合病院	0件
帝京大学付属病院	0件
その他	8件
合計	17件

定期受診	12件
発熱	0件
整形外科	1件
皮膚科	1件
内科	0件
その他	3件
合計	17件

月別受診件数

4月	0件
5月	0件
6月	6件
7月	0件
8月	2件
9月	2件
10月	2件
11月	0件
12月	2件
1月	0件
2月	2件
3月	1件
合計	17件

②病院別・入院状況

	人数	延べ日数
佐藤病院	0名	0日
浮間舟渡病院	17名	116日
北医療センター	1名	8日
健康長寿医療センター	0名	0日
赤羽リハビリテーション病院	0名	0日
戸田病院	0名	0日
練馬総合病院	0名	0日
赤羽中央病院	0名	0日
高島平中央総合病院	1名	1日
合計	19名	125日

③医療行為一覧

胃瘻	褥瘡処置	点滴	酸素療法	吸引
2名	1名	0名	0名	0名
尿道留置カテーテル	インスリン注射	血糖測定	ウロストミー	人工肛門
1名	0名	0名	0名	0名

④看取り介護の状況報告

該当なし

⑤施設内事故状況

事故件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	-
事故件数	9件	8件	4件	4件	3件	10件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故件数	7件	6件	1件	1件	4件	4件	61件

分類

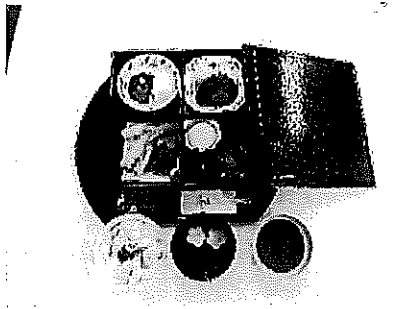
転倒転落	外傷	薬関係	離設	異食	その他	合計
7件	43件	4件	1件	3件	3件	61件

行政報告

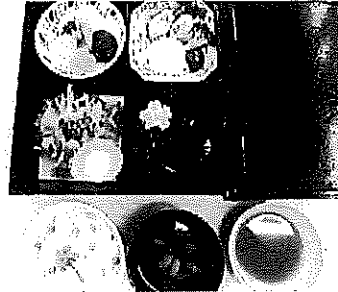
転倒転落	外傷	薬関係	離設	異食	その他	合計
0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

7. 行事食

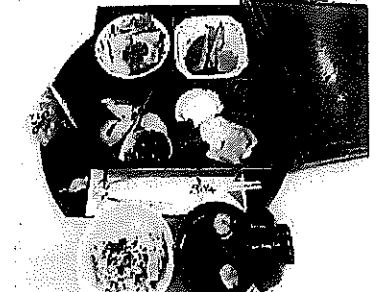
季節の食事はもちろんのこと、日々の食事もご入居者様が目で見て楽しんでもらえるよう栄養士が日々、志向を凝らしております。
食事がおいしくなったと評判を頂いています。



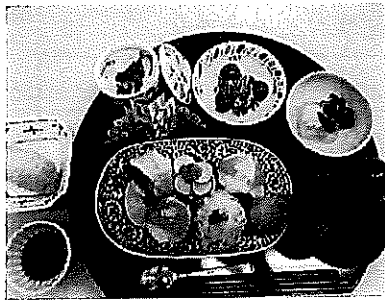
敬老のお祝い



春のお弁当



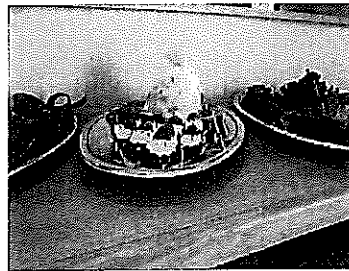
正月お祝い膳



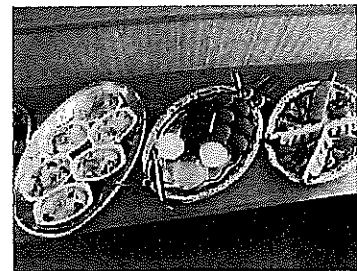
雑祭り手鞠寿司



クリスマスビュッフェ



イチゴでサンタを



8. 職員研修

コロナ禍において密になる可能性があるので内部研修を減少し、外部研修は殆ど開催されませんでした。

(1) 内部研修実績

4月	倫理・法令順守		
5月	ユニットケア		リスクマネジメント
6月	医療について	身体拘束廃止	感染症予防
7月	認知症ケア		
8月		高齢者虐待防止	
9月			感染症予防
10月	医療について		
11月	介護技術研修		リスクマネジメント
12月	医療について	身体拘束廃止	感染症予防
1月			褥瘡予防
2月		高齢者虐待防止	
3月			感染症予防

(2) 外部研修実績

令和2年

8月4日

感染予防研修

サラヤ

10月15日

福祉施設等苦情対応研修

北区

12月21日

技能実習責任者講習

ウエルネット

令和3年

3月22日

結核予防講演会

東京都結核予防会

3月25日

令和2年度第3回北区介護サービス事業者研修

北区

3月25日

令和2年度特定給食施設栄養管理講習

北区

社会福祉法人 千葉育美会
令和2年度 事業報告書
編集：千葉育美会 本部
令和3年5月31日発行